



地上・BS・110度CS デジタルハイビジョン液晶テレビ

DX-19E220J12 (19V 型)

DX-22E230J12 (22V 型)

本製品を適切かつ安全に使用するために、この取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取扱説明書

Dynex DX-19E220J12/DX-22E230J12 (19 インチ) (22 インチ) 地上・BS・110度CS デジタル ハイビジョン液晶 TV

目次

安全上のご注意	1
画面の焼き付き現象について	4
お手入れについて	4
付属品を確認する	4
スタンドを取り付ける	4
スタンドを取り付ける	4
テレビを設置する	5
設置場所の選択	5
転倒防止の処置をする	5
電源コードの固定ストラップを使う	5
各部の名称と働き	6
前面	6
上面	6
下面	6
背面	7
背面	7
リモコン	8
テレビを見るための準備をする	9
リモコンの準備をする	9
テレビを見るための準備をする	10
B-CAS カードを挿入する	10
アンテナやレコーダーを接続する	10
アンテナを接続する	10
レコーダーなど HDMI 端子のある機器と接続する	11
ビデオ、DVD プレーヤーなどを接続する	11
その他の外部機器を接続する	12
パソコンのモニターとして使う	12
PC 設定をする	12
光デジタル端子付きのオーディオ機器と接続する	13
ヘッドホンと接続する	13
ネットワークへの接続	13
電源に接続する	15
テレビを見るための設定をする	15
電源を入れる	15
地上デジタル放送のチャンネルを設定する	15
BS デジタル放送のチャンネルを設定する	16
110 度 CS デジタル放送のチャンネルを設定をする	16
BS/CS アンテナ電源を設定する	17
信号強度を確認する	17
地域設定、郵便番号を設定する	18

テレビを見る	18
放送を切替える／ビデオなどを見る	18
チャンネルを切替える	19
音量を調節する	19
音声を切り換える	19
画面表示を表示する	19
番組表（電子番組表）を使う	19
データ放送を見る	21
メニュー画面を操作する	21
映像を調整する	22
音声を調整する	23
本体設定をする	24
各種設定をする	25
リモコン設定	25
お知らせを見る	26
チャンネルをスキップする（とばす）	26
LAN 回線設定	26
各種設定をする	26
暗証番号を設定し視聴できる番組を制限する	27
視聴年齢制限設定	28
壁掛け金具を取り付ける	28
節電機能を使う	29
地上デジタル放送チャンネル一覧	30
仕様	33
困ったときは	34
画面に出るエラー表示	37
保証とアウターサービスについて	38
商標について	39
廃棄について	39

DYNE X

地上・BS・110度CS デジタルハイビジョンテレビ

DX-19E220J12 (19V型)

DX-22E230J12 (22V型)

安全上のご注意

ご使用の前にこの『安全にお使いいただくために』をよくお読みください。

本製品は安全に充分配慮して設計されていますが、電気製品は全て間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。

事故を未然に防止するために次のことを必ずお守りください。

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、様々な絵表示をしています。その意味と表示は次のようになっています。

	「人が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと想定される内容」です。
	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
	「人が傷害を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■絵表示の例

	の記号は「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。
	の記号は「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。
	の記号は「しなければならない行為」を示します。

警告

万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用をやめてください

次のようなときは、そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

- 煙が出ている、変なおいや音がする(異常状態)
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- 本機の内部に水などが入った
- 異物が本機の内部に入った
- 映像や音が出ないなど(故障状態)
- 落としたりして、本機を破損した

警告**電源について**

禁止

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方、交流 100V(50/60Hz) 以外では使用しない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱により、火災の原因になります。海外などで、異なる電源電圧で使用すると火災や感電の原因となります。

■電源コードを傷つけない

火災や感電の原因となります。

- 電源コードの上に重いものを乗せない
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない
- ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたりしない
- 熱器具に近づけたり加熱しない
- 移動させるときは電源プラグを抜く

万一、電源コードが痛んだ場合には、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

警告**電源について**

ぬれ手禁止

■濡れた手で電源プラグに触らない
感電の原因になります。

指示

■電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、火災、感電、ショートなどの原因となります。また、根元まで差し込んでみてもゆるみがあるコンセントには、つながないでください。**設置について**

禁止

■包装に使用しているビニール袋でお子様が遊んだりしないように注意する

かぶったり、飲み込んだりすると窒息のおそれがあります。万一、飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談してください。

■不安定な場所に置かない
落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。風呂、シャワー
室での使用禁止**■屋外や窓際、浴室等、水のかかるおそれのある場所には置かない**
火災、感電の原因となります。

禁止

■上に物を置かない
内部に金属類や液体が入った場合、火災、感電の原因となります。また、重いものなどが落下した場合、けがの原因となります。

指示

■本機の上面、左右、後面は10cm以上の間隔をおいて設置する

内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。

■壁掛け設置工事は、工事専門業者にご依頼ください
工事が不完全な場合、けがの原因となります。**使用について**

分解禁止

■修理・改造・分解はしない

内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因となります。内部の点検・調整および修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

■異物をいれない

通風孔などから金属類や紙・液体などの異物が入れると火災・感電の原因となります。

●特にお子様には、ご注意ください。

■雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れない
感電の原因となります。**お手入れについて**

指示

■電源プラグのほこり等は定期的に取り除く

ほこり等がたまると、湿気等により絶縁不良になり火災の原因となります。

●電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布でふいてください。

注意

電源について



指示

■電源プラグを持って抜く

電源コードを引っ張ると破損し、火災、感電、ショートの原因となるおそれがあります。

■長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く

旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグを抜いてください。



電源プラグを
コンセントから抜く

■他機器との接続するときは電源プラグを抜く

感電の原因となります。
また、他機器と接続する際には、各々の取扱説明書にしたがって接続してください。

設置について



指示

■本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する

万一の異常や故障の時、すぐに電源プラグが抜けるようにしてください。

■温度の高い場所に置かない

直射日光の当たる場所やストーブのそばなど、温度の高い場所に置かないでください。
火災や本体の変形・破損の原因となります。

■湿気、ほこりの多い場所や油煙、湯気が当たる場所に置かない

火災、感電の原因となります。

■通風孔をふさがない

内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 風通しの悪い場所で使用しない
- ホットカーペットの上に置かない
- 本機の上に布などをかけない



禁止

■本機の周りに水などの入った容器を置かない

内部に水などが入った場合、火災、感電の原因となります。

■電源・接続ケーブルを足にひっかけたりしないように処理する

けがや本機の破損、火災、感電の原因となることがあります。

■キャスター(車)付きのテレビ台に設置する場合にはキャスターが動かないように固定する

テレビ台が動き、本機の破損、けがの原因となることがあります。

■機器相互の干渉に注意する

本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害により映像が乱れたり、雑音が発生することがあります。

■付属の転倒・落下防止部品を使用して固定する

転倒、落下防止の処置をしないとテレビの転倒・落下によって、けが等の危害が大きくなる場合があります。
※すべての地震などに対して効果を保証するものではありません。



指示

■アンテナ設置工事は、お買い上げの販売店にご依頼ください

アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。

- 送電線から離れた場所に設置してください。
- BS、CS放送受信用のアンテナは強風の影響を受けやすいのでしっかり取り付けてください。

注意

使用について



禁止

■液晶画面を強く押したり、強い衝撃を与えない

液晶画面が破損するおそれがあります。
液晶画面が破損した場合は、画面内部の液体には絶対に触れないでください。

- 口に入った場合は、直ぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちにきれいな水で十分に洗い流し、医師に相談してください。

■本機の上にのったり、ぶらさがったりしない

本機が倒れたりして、けがの原因となります。

■本機に殺虫剤など、揮発性のものをかけない

本機が変質したり塗装がはげたりします。

■本機にゴムやビニール製品などを長時間接触させない

本機が変質したり塗装がはげたりします。

■音量に注意する

- 周辺の人に迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に夜間は、窓を閉めたりヘッドホンの使用をおすすめします。
- ヘッドホンを使用する際は音量を上げすぎないようにご注意ください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



指示

移動について

■開梱や持ち運びは、無理のない人数で取り扱う

無理をすると、からだを痛めたり、本機を落としてけがや本機の破損の原因となります。

■衝撃を与えないように丁寧に取り扱う

本機の破損の原因となります。

■移動させる前に電源プラグを抜き、接続ケーブルなどを取り外す

火災、感電の原因となります。



指示

お手入れについて



電源プラグを
コンセントから抜く

■お手入れの際は電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れすると、感電の原因となります。

■通風孔に付着したゴミやホコリはこまめに取り除く

長い間掃除をしないと内部にホコリがたまり、火災や故障の原因となることがあります。

※内部の掃除は危険です。お買い上げの販売店にご依頼ください。

■液晶画面のお手入れのしかた

- 乾いた柔らかい布で軽く拭きとってください。
硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、液晶画面の表面に傷がつきます。ご注意ください。
- 液晶画面の表面にホコリがついた場合には、市販の除塵用ブラシ(静電気除去ブラシ)をお使いください。
- 化学ぞうきんは使用しないでください。

■キャビネットのお手入れのしかた

- ベンジンやシンナー、殺虫剤は使用しないでください。
本機が変色したり塗装がはげるなどの原因となります。
- スプレー洗剤は直接かけないでください。
- 柔らかい布で軽く拭きとってください。
- 汚れがひどいときは、布を水で薄めた中性洗剤によく浸し、よく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。



指示

電池についての安全上のご注意



危険

■液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。ご注意ください。



禁止

- ・指定以外の乾電池は使用しない
- ・電池の端子部(＋と－)を逆にして使わない
- ・異なる種類、銘柄の電池、新旧電池を混ぜて使わない
- ・充電、分解、加工、加熱しない。火の中へ入れない
- ・水などの液体で濡らさない
- ・踏みつけたり、落下させたりするなど衝撃を与えない
- ・直射日光が当たる場所や温度が高くなる場所に放置しない
- ・電池は使い切ったら、早めに取り出す
- ・湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所で使用、放置しない
- ・乾電池は使用推奨期限内のものを使用する
- ・長期間使用しないときは、リモコンから電池を取り出す



指示

■電池が液漏れしたときは

- ・電池の液が漏れたときは素手で液に触らないでください。
- ・液が目に入ったときは失明の原因になるため、目をこすらず、すぐにきれいな水で十分に洗い流し、ただちに医師に相談してください。
- ・液が身体や衣服についたときには火傷やけがの原因になるため、すぐにきれいな水で十分に洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。



指示

■電池を乳幼児のそばに放置しない

万一、飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるのでただちに医師に相談してください。



禁止

液晶パネルについて

- 液晶パネルは、非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが0.01%の常時点灯する画素や点灯しない画素があります。これらの画素は少量に抑えられるよう管理していますが、現在の最先端技術でも無くすのは困難です。ご了承ください。
- 液晶画面を太陽に向けたままにしないでください。液晶画面が傷むおそれがあります。屋外や窓際等には置かないでください。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに残像は消えます。故障ではありません。
- 使用中に画面やキャビネットが温かくなることがありますが、故障ではありません。

メモリーに保存されるデータについて

- 本機のメモリーには、各種機能の設定時にIPアドレス、ブックマーク等が、また、ご使用にあたってはメール、番組購入履歴などが記録されます。
- 本機のメモリーには、放送事業者の要求によりお客様が入力した個人情報や、データ放送のポイントなどが記録される場合があります。
- 本機を廃棄、譲渡する場合には、本機のメモリーに記録されているデータを消去することを強くお勧めします。
- 本機の不具合・修理など、何らかの原因で本機のメモリーに保存されたデータが破損、消去した場合等、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても当社にて記録内容の修復はいたしません。予めご了承ください。

廃棄について

- 家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの液晶テレビを廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

免責事項について

当社は以下のような事由で生じた損害および付随的な損害に関して、一切の責任を負いません。

- 地震・雷・火災などの天災地変、第三者による行為、その他の事故によるもの
- お客様の故意または過失、異常な条件下での使用、取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じたもの
- 本製品の使用または使用不能から生じたもの(事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など)
- 他の機器との組み合わせによる誤動作や動作不能、誤操作等から生じたもの
- 誤操作や静電気などのノイズによって本機に記憶されたデータ等が変化・消失したことによるもの
- 故障、修理、交換等の際に、データが変化・消失したことによるもの

長年ご使用の機器の点検を！

愛情点検



こんな症状はありませんか

- ・電源を入れても映像や音が出ない
- ・異常な熱や煙が発生したり変な臭いがする
- ・電源コードやプラグが異常に熱い
- ・電源コードに深い傷や変形がある
- ・その他の異常や故障がある

ご使用
中止

故障や事故防止のため、すぐに電源プラグを抜き必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

画面の焼き付き現象について

同一の静止画を長時間繰り返し表示すると残像(焼き付き)が発生する原因になります。ご注意ください。

ご注意

焼き付き現象は次のようなケースで起こりやすくなっております。ご注意ください。

- ・パソコンやデータ放送、番組表示やゲームのロゴなど映像が切換わらない「静止映像」を長時間表示させ続けた場合
- ・4:3映像をノーマル状態で長時間表示させ続けた場合

※画面の焼き付き現象は、保証の対象外となります。

お手入れについて

液晶画面のお手入れのしかた

- ・乾いた柔らかい布で軽く拭きとってください。
- ・液晶画面の表面にホコリがついた場合には市販の除塵用ブラシ(静電気除去ブラシ)をお使いください。
- ・化学ぞうきんは使用しないでください。

付属品を確認する

設置や接続の前に付属品をお確かめください。

()内は個数です。

- ・リモコン (1)
- ・単4形乾電池 (2)
- ・スタンダー式
スタンド (1)
- ・固定用ネジ (3)
- ・転倒・落下防止部品一式
ベルト (1)
- ・取り付けネジ (2)
- ・取扱説明書 (1)
- ・簡単セットアップガイド (1)
- ・B-CAS カード (1)
- ・保証書 (1)

スタンドを取り付ける

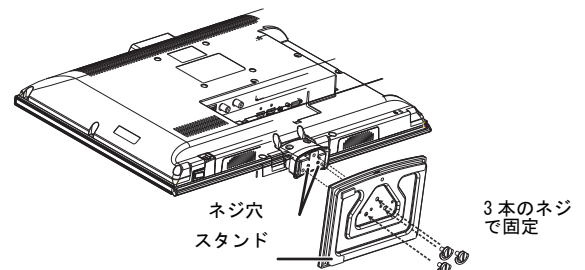
テレビ台など水平なところに設置してください。壁かけをする際は、本体より支柱を取り外してください。

ご注意

- ・取り付けの前に本説明書をよくお読みください。
- ・スタンドを取り付け、取り外しする際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・スタンドを設置する際は、クッションや柔らかい布を使用し、本体および液晶パネルが傷つかないようにご注意ください。
- ・ご不明な点はお買上げの販売店にご相談ください。
- ・当社は設置の際に生じた破損・傷に関して一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

スタンドを取り付ける

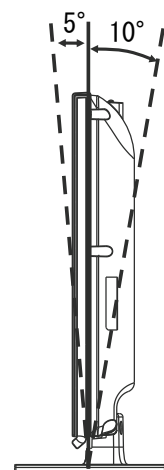
- 1 箱からスタンドと固定用ネジを取り出す。
- 2 テーブルなどの上に柔らかい乾いた布を敷く
傷がつかないようにテーブルなどの上に柔らかい乾いた布やクッションなどを敷いてください。
- 3 本体をテーブルなどの上に置く
画面を下にして、傷がつかないように注意して本体を布の上に置いてください。
スタンドを本体に取り付けやすいように本体下部をテーブル等の端にあわせてください。
- 4 本体にスタンドを取り付ける
固定用ネジ(付属品)を使用し、スタンドを本体にしっかりと固定してください。



スタンドを取り外すには、上記の手順を反対に行ってください。

画面の角度を調節するには、

画面の角度を前方向に5°、後方向に10°調整することができます。



テレビを設置する

設置場所の選択

異常や故障が発生したときや、長時間テレビを使用しないときには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

テレビは以下のような場所に設置してください。

- ・画面に直射日光があたらない場所
- ・丈夫で水平な安定した場所
- ・万一の時に電源プラグを直ぐにコンセントから抜ける場所

ご注意

テレビを暗いところや画面に光が反射した状態では視聴しないでください。眼精疲労を引き起こす場合があります。

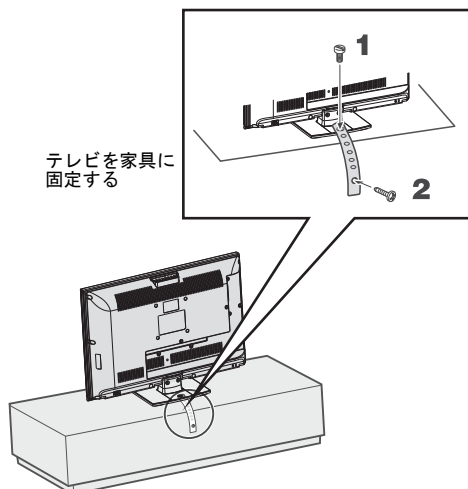
転倒防止の処置をする

転倒・落下防止部品はテレビの落下防止に役立ちますが、全ての地震などに対して効果を保証するものではありません。またテレビ台の材質などにより使用できない場合があります。その場合、お買い上げの販売店にご相談ください。テレビを不安定な場所に設置すると落下の可能性があるので危険です。事故を未然に防止する為に以下の注意事項を守ってください。

- ・テレビを家具や壁にしっかりと固定する。
 - ・ぐらついた台などに設置しないでください。
 - ・テレビ台からテレビがはみ出さないように設置する。
 - ・テレビとテレビ台などの間に布などを敷かないでください。
 - ・テレビ台に乗らないでください。
- 特に小さいお子様がいる場合には、ご注意ください。

転倒・落下防止部品を取り付けるには：

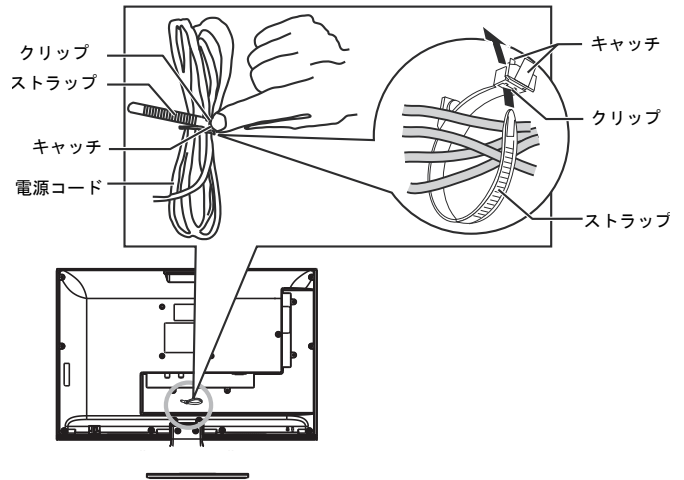
- 1 転倒・落下防止部品（ベルトと固定用ネジ）を使用して、本機のスタンドをテレビ台の天板などにしっかりと固定してください。



- 2 ベルトのもう一方の端を、固定用ネジ(付属品)などでテレビ台の背板などにしっかりと固定してください。

電源コードの固定ストラップを使う

固定ストラップを緩めるにはキャッチをつまんでクリップを緩めます。その後、ストラップを緩めて電源コードを引き出します。

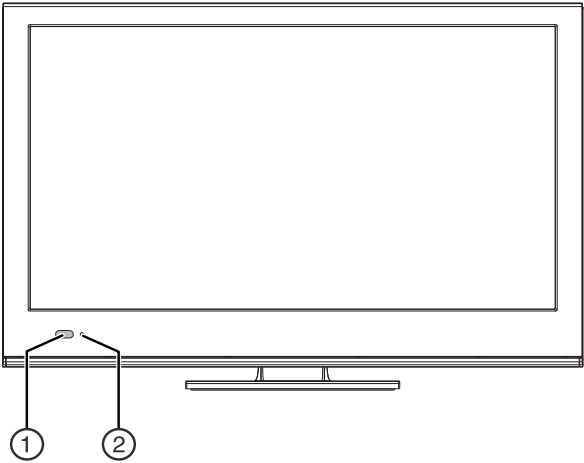


固定ストラップを利用して、AVケーブルなどをまとめることができます。

- 1 ストラップでケーブルを巻いて、ストラップの端をクリップの中に通して、締めます。

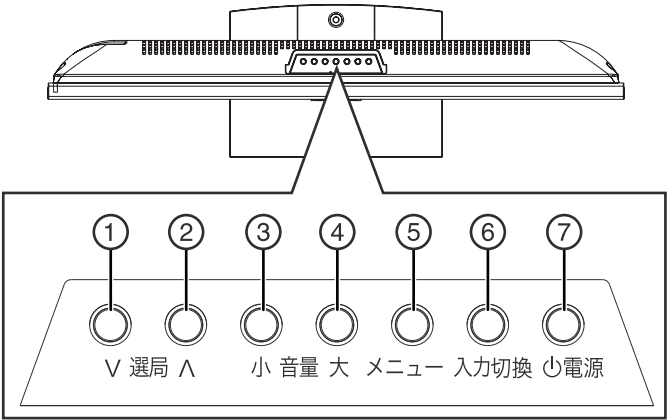
各部の名称と働き

前面



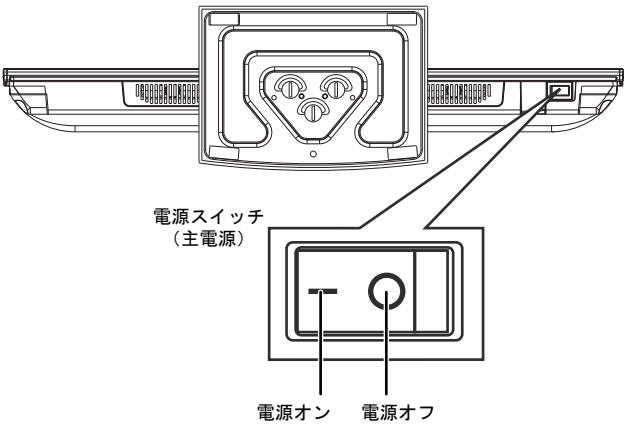
No.	名称	詳細
1	リモコン受光部/省エネセンサー	リモコンの信号を受信するセンサーと部屋の明るさを検知するセンサーがある場所。 ※センサーが正しく動作できなくなりますので、センサーの前に物を置かないでください。
2	電源インジケータ	スタンバイモード時：点灯 起動時：点滅 電源「入」時：消灯 ※電源を入れ、テレビ番組などが画面に表示されると電源インジケータは、消灯します。

上面

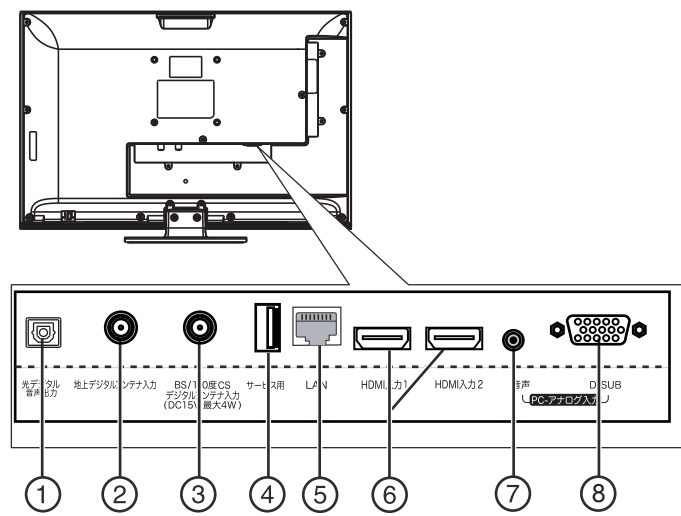


No.	名称	詳細
1	選局 V	・チャンネルを選局します。 ・メニュー画面でカーソルを下に移動します。
2	選局 入	・チャンネルを選局します。 ・メニュー画面でカーソルを上に移動します。
3	音量小	・音量を下げます。 ・メニュー画面でカーソルを左に移動します。
4	音量大	・音量を上げます。 ・メニュー画面でカーソルを右に移動します。
5	メニュー	メニュー画面を表示します。
6	入力切換	画面をビデオ等に切換できます。
7	電源 入	テレビの電源を入れます。もう一度押すとテレビをスタンバイモードにします。 ※詳細については「電源を入れる」(14ページ)をご覧ください。

下面

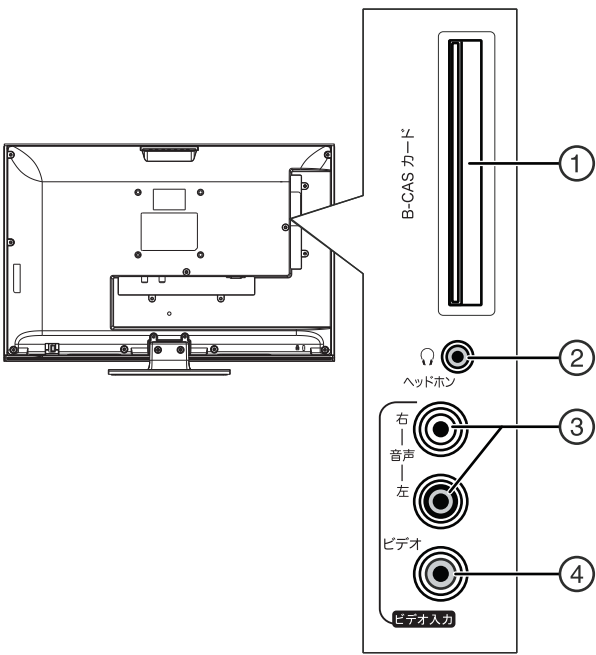


背面



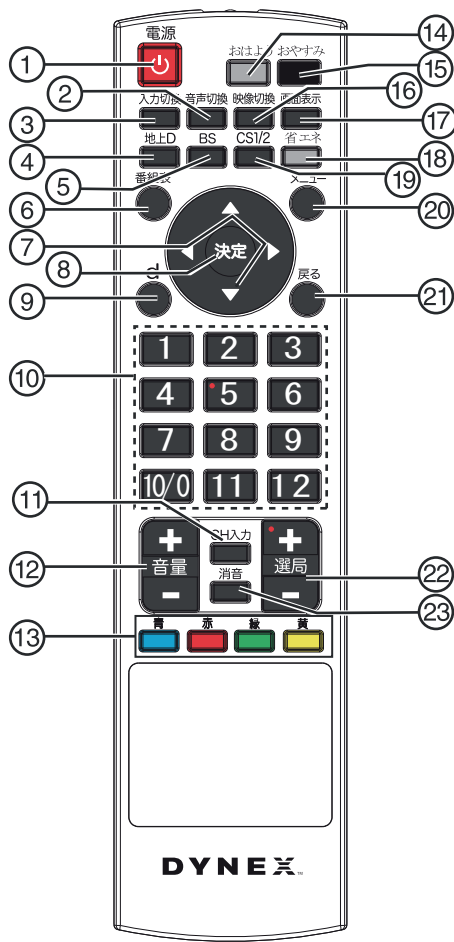
No.	名称	詳細
1	光デジタル音声出力端子	光デジタルケーブルを接続してアンプなどに接続します。
2	地上アンテナ入力	地上デジタル用アンテナケーブルを接続します。
3	BS/110度CSデジタルアンテナ入力端子	BS/110度CSデジタル用アンテナケーブルを接続します。
4	サービス用ポート	使用しないでください。
5	LAN 端子	イーサネットケーブルを接続してテレビをネットワークにつなぎます。
6	HDMI1、2 端子	DVD レコーダーなどの HDMI 端子のついた機器を接続します。HDMI ケーブルは 1 本のケーブルで映像と音声の両方の信号を受信できるので、オーディオケーブルを接続する必要はありません。詳細については、「レコーダーなど HDMI 端子のある機器と接続する」(11 ページ)をご覧ください。
7	PC 音声入力端子 (PCアナログ入力)	パソコン用のオーディオケーブルをこの端子に接続します。詳細については、「その他の外部機器を接続する」(12 ページ)をご覧ください。
8	D-SUB 端子 (PCアナログ入力)	パソコンのディスプレイケーブル (ミニ D-Sub15 ピン) を接続します。詳細については、「その他の外部機器を接続する」(12 ページ)をご覧ください。

背面



No.	名称	詳細
1	B-CAS カードスロット	B-CAS カードをこのスロットに挿入してください。詳細については、「B-CAS カードを挿入する」(10 ページ)をご覧ください。
2	ヘッドホン端子	ヘッドホンはこの端子に接続します。
3	ビデオ入力端子 (音声)	ビデオや DVD プレーヤーなどの機器を接続します。オーディオケーブル (赤・白) をこの端子に接続してください。
4	ビデオ入力端子 (映像)	ビデオや DVD プレーヤーなどの機器を接続します。ビデオケーブル (黄色) をこの端子に接続してください。

リモコン



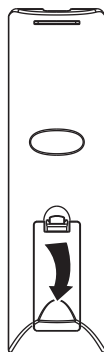
No.	名称	詳細
1	⏻（電源）	テレビの電源を入れます。またはテレビをスタンバイモードにします。詳細については、「電源を入れる」(15 ページ) をご覧ください。
2	音声切換	音声モードを切換えます。テレビ放送視聴時に複数の音声を選択できます。(複数の音声が収録されている場合)
3	入力切換	入力切換メニューを開きます。ビデオなどを楽しむときに押してください。▲▼ボタンを押して見たい機器や放送を選択し決定ボタンを押してください。詳細については「放送を切換える／ビデオなどを見る」(18 ページ) をご覧ください。
4	地上 D	地上デジタル放送に切換えます。詳細については「放送を切換える／ビデオなどを見る」(18 ページ) をご覧ください。
5	BS	BS デジタル放送に切換えます
6	番組表	EPG (電子番組表) を表示します。詳細については「番組表 (電子番組表) を使う」(19 ページ) をご覧ください。
7	▲ ▼ ▶ ◀	メニュー画面でカーソルを移動したり、画質などを調整する際に使用します。詳細については、「メニュー画面を操作する」(21 ページ) をご覧ください。
8	決定	メニュー画面で選択した項目を決定します。詳細については、「メニュー画面を操作する」(21 ページ) をご覧ください。

No.	名称	詳細
9	d（データ）	データ放送サービスを見ることができます。詳細については、「データ放送を見る」(21 ページ) をご覧ください。
10	数字ボタン	見たいチャンネルの番号を押して選局できます。また、視聴年齢制限設定をする際にパスワードを入力するときにも使用します。詳細については、「チャンネルを切換える」(19 ページ) をご覧ください。
11	CH 入力	CH 入力ボタンを押した後に数字ボタンで3桁のチャンネル番号を入力することにより、直接チャンネルを選局できます。詳細については「チャンネルを切換える」(19 ページ) をご覧ください。
12	音量+ / - ボタン	音量の大小を調節します。詳細については「音量を調節する」(19 ページ) をご覧ください。
13	カラーボタン (青・赤・黄・緑)	電子番組表やデータ放送画面で色のついた項目を選択する際に使用します。詳細については「番組表 (電子番組表) を使う」(19 ページ) をご覧ください。
14	おはようタイマー	指定した時刻に、自動的に電源が入るように設定できます。
15	おやすみタイマー	指定した時間後に自動的に電源が切れるように設定できます。
16	映像切換	複数の映像が収録された番組を視聴する場合ボタンを押すごとに映像を切換えます。詳細については、「チャンネルを切換える」(19 ページ) をご覧ください。
17	画面表示	現在の番組についての情報を表示します。詳細については、「画面表示を表示する」(19 ページ) をご覧ください。
18	省エネセンサーボタン	省エネセンサーのオン / オフを切換えます。室内の明るさをセンサーが自動的に感知して画面の明るさを調整します。
19	CS1/2	CS1 と CS2 放送を切換えます。詳細については、「放送を切換える／ビデオなどを見る」(18 ページ) をご覧ください。
20	メニュー	メニュー画面を表示します。詳細については、「映像を調整する」(22 ページ) をご覧ください。
21	戻る	前のメニュー画面に戻ります。
22	選局 + / - ボタン	チャンネルリストの次または前のチャンネルに移動することができます。詳細については「チャンネルを切換える」(19 ページ) をご覧ください。
23	消音	音を消します。もう一度押すと消音機能が解除されます。詳細については、「音量を調節する」(19 ページ) をご覧ください。

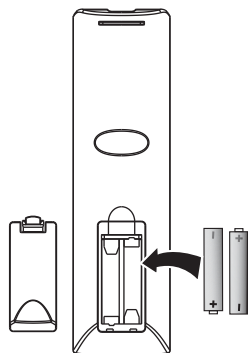
テレビを見るための準備をする

リモコンの準備をする

- 1 電池収納部カバーのを持ち上げるようにして開けます。



- 2 単4形乾電池を2個入れます。電池の⊕と⊖のマークを電池収納部の⊕と⊖のマークと合わせて入れてください。



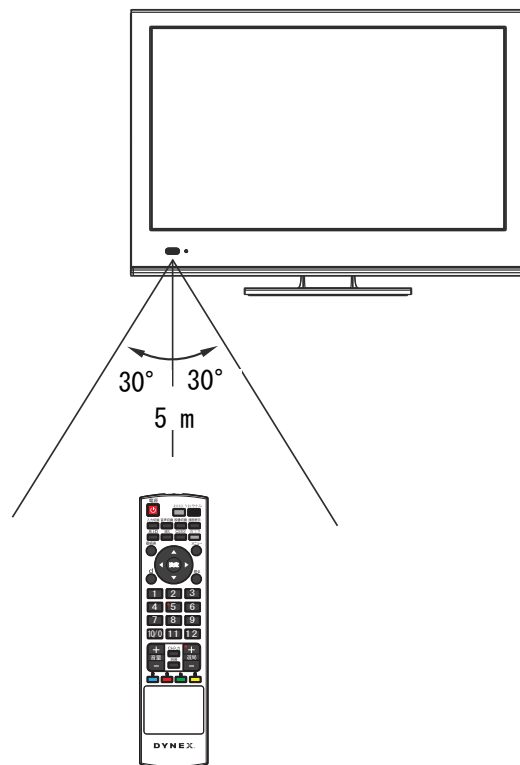
- 3 カバーを閉めます。

ご注意

- ・種類の異なる電池を混ぜて使わないでください。
- ・古い乾電池と新しい乾電池を混ぜて使わないでください。
- ・使い切った乾電池は取り出してください。
- ・乾電池は充電しないでください。
液漏れのおそれがあります。乾電池から漏れた液体に触らないでください。目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。
- ・長期間使わない場合には、リモコンから電池を取り出してください。
- ・電池を火中に投棄しないでください。
- ・使用済みの乾電池は、地方自治体またはお住まいの地域で定められた規則にしたがって廃棄してください。

リモコンで操作できる範囲：

リモコンは、本体のリモコン受光部に向けて使用してください。



ご注意

- ・リモコンに衝撃を与えないでください。
- ・リモコンを濡らさないでください。
- ・湿度の高い場所でリモコンを使用しないでください。
- ・直射日光の当たる場所にリモコンを置かないでください。
- ・リモコンとリモコン受光部の間に障害物を置かないでください。
- ・リモコン受光部に直射日光や強い光が当たっていると、リモコンが動作しない場合があります。テレビを移動するか、リモコンの照準を合わせる角度を変えてください。

テレビを見るための準備をする

B-CAS カードを挿入する

デジタル放送を見るにはB-CASカードをテレビに差し込んでおく必要があります

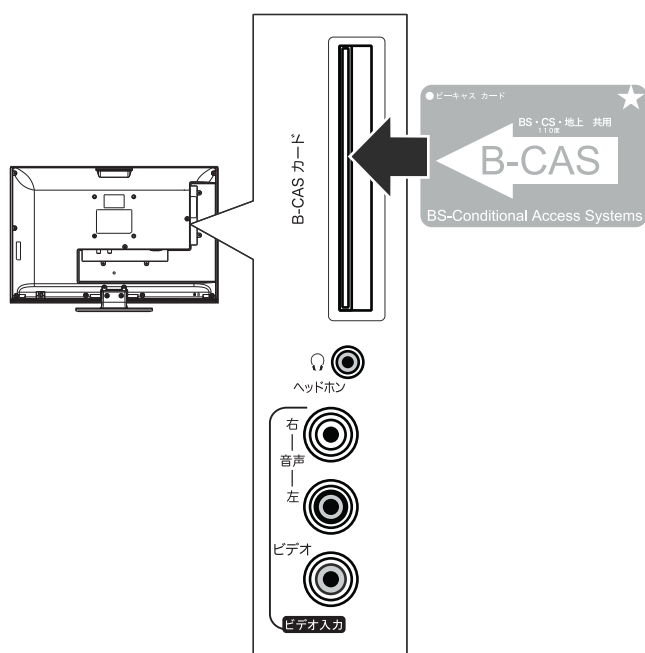
ご注意

- ・B-CASカードを挿入する前に、B-CASカードの台紙に記載された内容をよく読み、同意の上でB-CASカードを台紙から外してください。

B-CAS カードを挿入するには：

- 1 テレビの電源を切ります。
- 2 B-CASカードを下図のように本体側面のB-CASカードスロットに奥までしっかりと差し込んでください。

※B-CASカードは、本体から約1cm出た状態になります。



ご注意

- ・使用中にB-CASカードをスロットから取り出さないでください。B-CASカードを取り出すと、デジタル放送を視聴できなくなります。
- ・B-CASカードの情報(ID番号など)を取得するには「お知らせを見る」(26ページ)をご覧ください。
- ・B-CASカードを抜き差しするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・B-CASカードを紛失・破損した場合には、B-CASカスタマーセンターまでご連絡ください。お客様の費用ご負担で新しいB-CASカードが発行されます。B-CASカスタマーセンターの電話番号はカードに記載されています。

アンテナや外部機器と接続する前に

ご注意

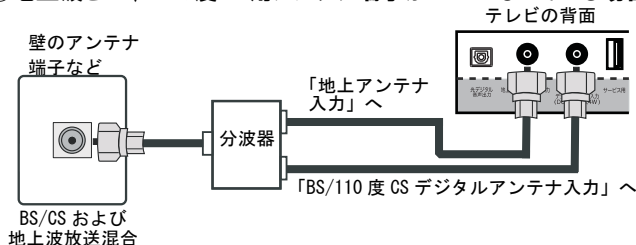
- ・接続を行う前に端子の位置と形状をご確認ください。
- ・しっかり接続されないと画像または色に障害が出る可能性があります。すべての接続をしっかりと固定してください。
- ・イラストは、お持ちの機器とは異なる場合があります。接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。
- ・外部機器と接続する場合には、電源プラグをコンセントから抜いてください。

アンテナを接続する

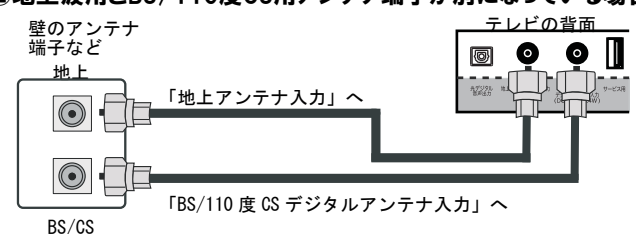
- ・地上波放送をご覧になりたい場合には、地上デジタル放送用アンテナケーブルを本体背面の地上デジタルアンテナ入力端子に接続してください。
- ・BS/110度CSデジタル放送の番組をご覧になりたい場合は、BS/110度CSデジタル用アンテナケーブルを、本体背面のBS/110度CSデジタルアンテナ入力端子に接続してください。

下記接続図は一般的な例であり、新たにご用意いただくもの(ケーブル、分波器など)は、お客様によって異なります。詳細についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

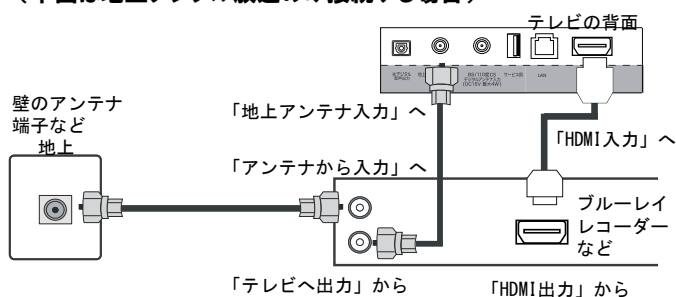
①地上波とBS/110度CS用アンテナ端子が一つになっている場合



②地上波用とBS/110度CS用アンテナ端子が別になっている場合



③DVDまたはブルーレイレコーダーなどを経由して接続する場合 (下図は地上デジタル放送のみ接続する場合)



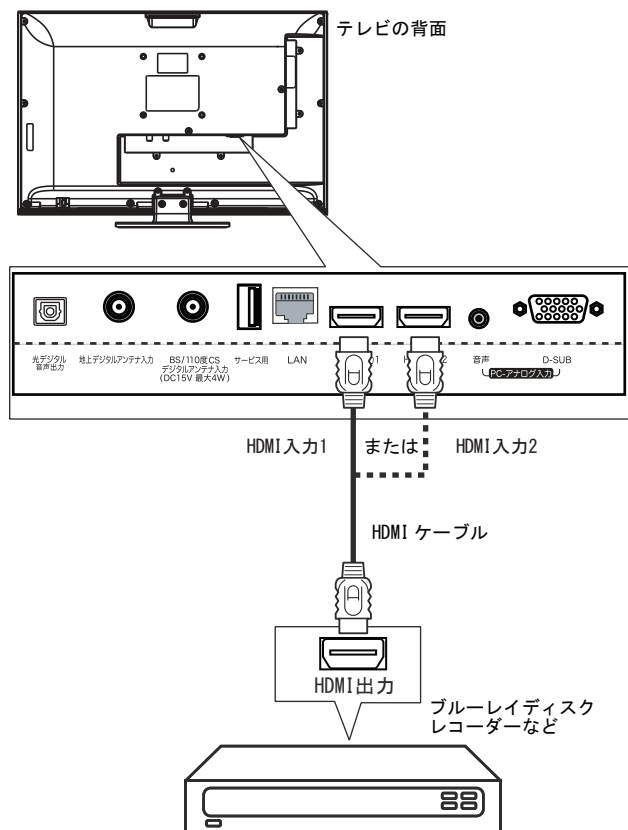
ご注意

アンテナの取り付けと調整については、お買い上げの販売店にご相談ください。

レコーダーなどHDMI端子のある機器と接続する

HDMI 機器を接続するには：

- 1 接続する前に、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 2 HDMI機器のHDMI出力端子にHDMIケーブルを接続します。



- 3 ケーブルの反対側の端子をテレビ背面のHDMI入力端子に接続してください。

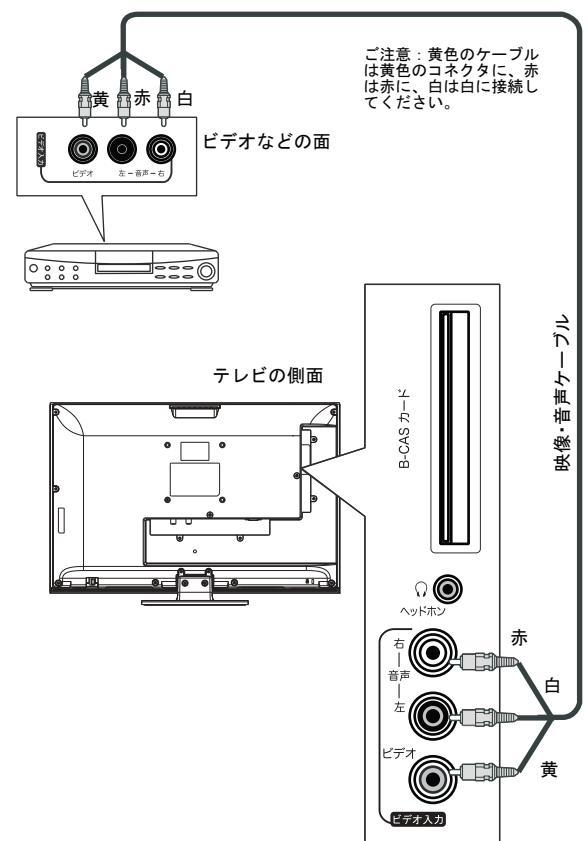
HDMI 機器を再生するには：

- 1 テレビの電源を入れ、入力切換ボタンを押してください。入力切換メニューが開きます。
- 2 ▲▼ボタンを押して「HDMI1」または「HDMI2」を選択し決定ボタンを押してください。
- 3 HDMI機器の電源を入れてください。映像が映らないときにはHDMI機器の映像出力設定を確認してください。詳細については、HDMI機器の取扱説明書をご覧ください。

ビデオ、DVD プレーヤーなどを接続する

AV 機器を接続するには：

- 1 接続する前に、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 2 映像・音声ケーブルをビデオ、DVDプレーヤーなどのAV出力端子に接続してください。



- 3 映像・音声ケーブルを本体側面のビデオ入力端子に接続してください。

AV 機器を再生するには：

- 1 テレビの電源を入れ、入力切換ボタンを押してください。入力切換メニューが開きます。
- 2 ▲▼ボタンを押して「ビデオ」を選択し、決定ボタンを押してください。
- 3 AV機器の電源を入れ、再生ボタンを押してください。再生を始めます。

その他の外部機器を接続する

パソコンのモニターとして使う

ご注意

- ・外部モニターで表示できるようにパソコンを設定してください。
- ・本機にパソコンをつなぐ場合には、パソコンのRGB出力の解像度を確認してください。パソコンが以下の解像度に対応していない場合は、本機でパソコンの画面を表示できません。

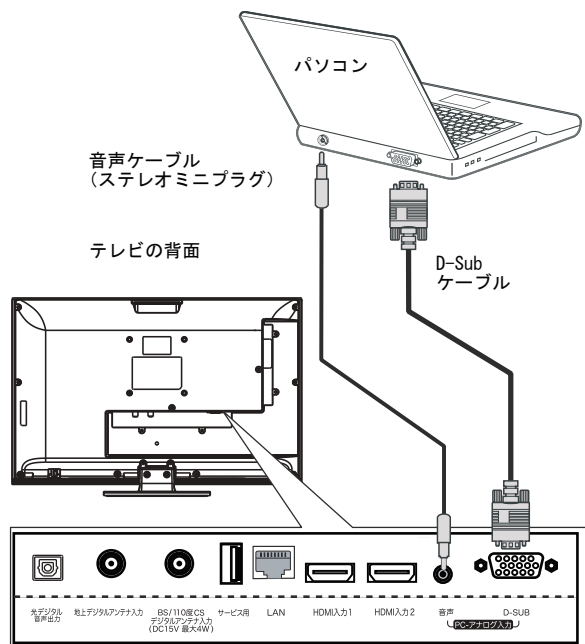
※詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

	解像度 (画素)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (kHz)	VESA 規格
VGA	720 × 400	31.5	70	
VGA	640 × 480	31.5	60	
SVGA	800 × 600	37.9	60	○
XGA	1024 × 768	48.4	60	○
WXGA	1360 × 768	47.7	60	○
* SXGA	1280 × 1024	64.0	60	
* 1080p	1920 × 1080	67.5	60	

* は、DX-22E230J12のみ対応

パソコンと接続するには：

- 1 テレビの電源プラグが抜かれていること及びパソコンの電源が入っていないことを確認してください。
- 2 D-Subケーブル(別売)をパソコンのモニター出力端子(ミニD-sub15ピン)とテレビ背面のD-SUB端子に接続してください。



- 3 音声ケーブル(別売)を、パソコンの音声出力端子とテレビ背面の音声入力端子に接続してください。

パソコンの映像をテレビに映すには：

- 1 テレビの電源を入れ、入力切換ボタンを押してください。入力切換メニューが開きます。
- 2 ▲▼ボタンを押してPCを選択し、決定ボタンを押してください。
- 3 パソコンの電源を入れてください。
必要に応じてパソコンの解像度を調節してください。

PC設定をするには：

ご注意

- ・HDMIケーブルを使用して本機とパソコンを接続する場合には、PC設定をすることができません。
- ・HDMIケーブルを使用して本機とパソコンを接続する場合には、オーバースキャンをオフにしてください。

メニュー→映像設定→詳細設定→
オーバースキャン→オフ

- 1 入力切換ボタンを押し、▼▲ボタンを押して「PC」を選択し決定ボタンを押してください。
- 2 メニューボタンを押してください。
メニュー画面が開きます。



- 3 ▲▼ボタンを押して「本体設定」を選択し、決定ボタンを押してください。
- 4 ▲▼ボタンを押して「PC設定」を選択し、決定ボタンを押してください。
PC設定メニューが開きます。
- 5 ▲▼◀▶ ボタン、決定ボタンを押して各項目を選択し調整してください。

調整できる項目は以下のとおりです。

- ・水平位置：画像を左右に移動させます。
- ・垂直位置：画像を上下に移動させます。
- ・位相：文字などを表示した時に映像のチラツキが出たりコントラストがつかないときに調整します。
- ・クロック周波数：縦じま状のチラツキがある時に調整します。
- ・自動調整：画面位置やクロック周波数などを自動的に調整します。

- 6 メニューを閉じるには、メニューボタンを押してください。

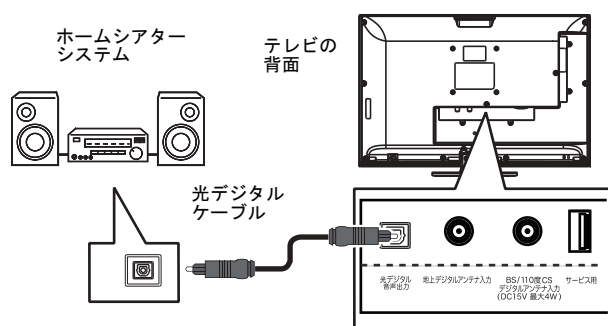
光デジタル端子付きのオーディオ機器と接続する

光デジタルケーブルを使用してホームシアターシステムなどを接続するには：

- 1 テレビの電源プラグが抜かれていること、およびオーディオ機器の電源が入っていないことを確認してください。
- 2 オーディオ機器の光デジタル音声入力端子に光デジタルケーブルを接続します。
- 3 ケーブルの反対側の端子をテレビ背面の光デジタル音声出力端子に接続してください。

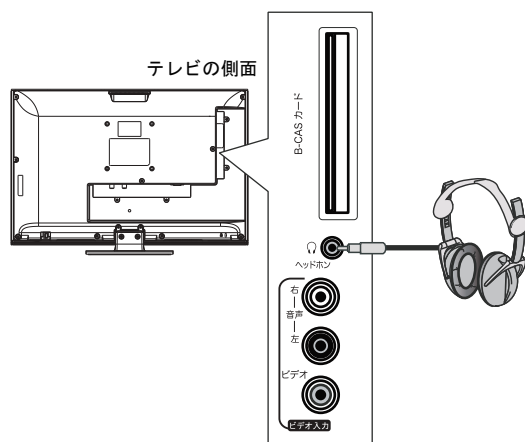
ご注意

- ・ 光デジタルケーブルの端子は2種類の形状があります。
- ・ 接続する機器の端子の形状に合わせてケーブルをお買い求めください。
- ・ 本機の端子の形状は光角型です。



ヘッドホンと接続する

- ・ ヘッドホンを、テレビ背面のヘッドホン端子に接続します。



ご注意

ヘッドホン接続時は、本体スピーカーから音が出ません。

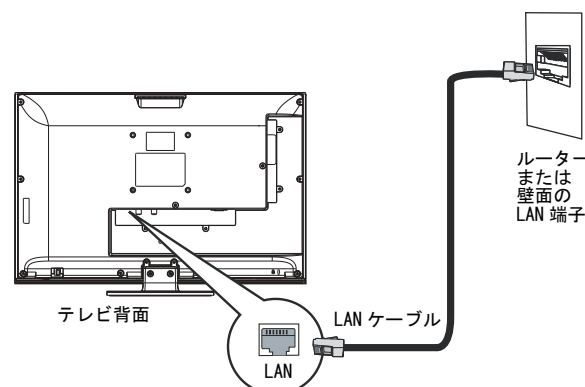
ネットワークへの接続

本機能を使用するには別途通信業者やプロバイダーとの契約が必要です。インターネットを経由してデジタル放送の一部の双方向サービスを利用することができます。

※ホームページの閲覧などはできません。

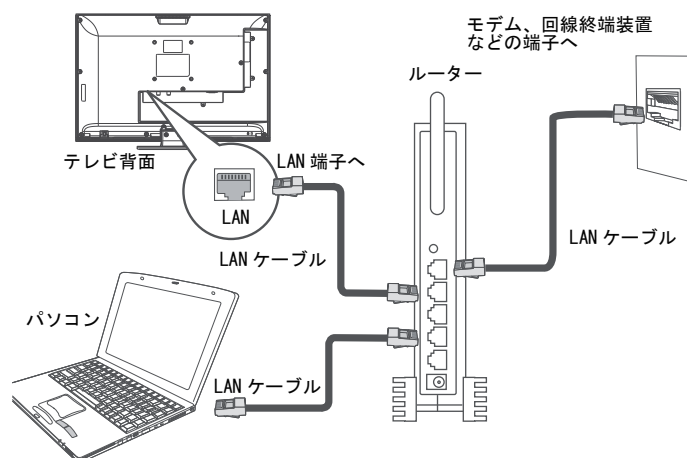
ネットワークに接続するには：

- ・ テレビ背面のLAN端子と壁のLAN端子をケーブルで接続してください。



ルーター使用時の接続例：

- 1 テレビ背面のLAN端子にLANケーブルを接続してください。
- 2 ルーターのLAN端子にLANケーブルを接続してください。



ご注意

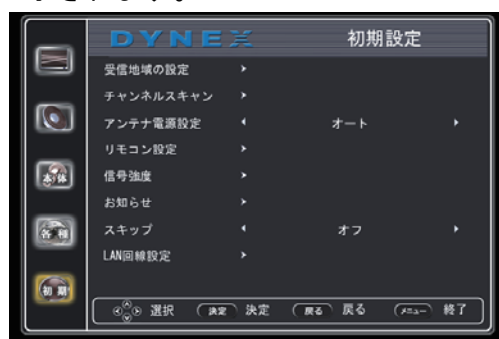
- ・ 本機では、ルーターやルーター内蔵モデムの設定はできません。これらの機器によっては、パソコンの設定が必要な場合があります。
- ・ 通信事業者やプロバイダーとの契約によっては、本機やパソコンなどの機器を複数接続できないことがあります。
- ・ 上図は一般的な例です。お客様やネットワーク環境によって接続方法が異なります。通信事業者やプロバイダーの取扱説明書をよくお読みください。
- ・ ご不明な点は、ご契約の通信事業者やプロバイダーにお問い合わせください。

ネットワークの設定：

- 1 リモコンの地上 D、BS、または CS1/2 ボタンを押して、画面をデジタル放送に切換え、メニューボタンを押してください。メニュー画面が表示されます。



- 2 ▲▼ボタンを押して初期設定を選択し、決定ボタンを押してください。初期設定画面が表示されます。



- 3 ▲▼ボタンを押して、LAN 回線設定を選択し、決定ボタンを押してください。



- 4 ▲▼ボタンを押して設定方法を選択し、◀▶ボタンを押して手動設定（ネットワークを手動で設定）またはオート（IP アドレスなどを自動的に取得）を選択してください。
※工場出荷時はオートに設定されています。

- 5 手動に切り換えた場合には、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーを設定してください。

▲▼◀▶ ボタンと数字ボタン、決定ボタンを使用して各項目を入力してください。

例) IP アドレスの設定方法：

▲▼◀▶ ボタンと数字ボタンを押して IP アドレスの欄に IP アドレスを入力し、決定ボタンを押してください。

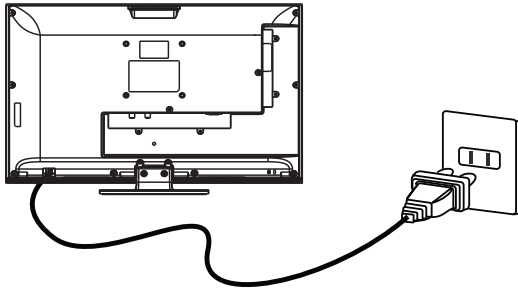
ご注意

- ・ 詳細についてはご契約のインターネットサービスプロバイダーにお問い合わせください。
- 6 ▲▼ボタンを押して決定を選択し、決定ボタンを押してください。

テレビを見るための設定をする 電源に接続する

電源に接続するには：

- ・電源プラグをご家庭のコンセントに差し込みます。



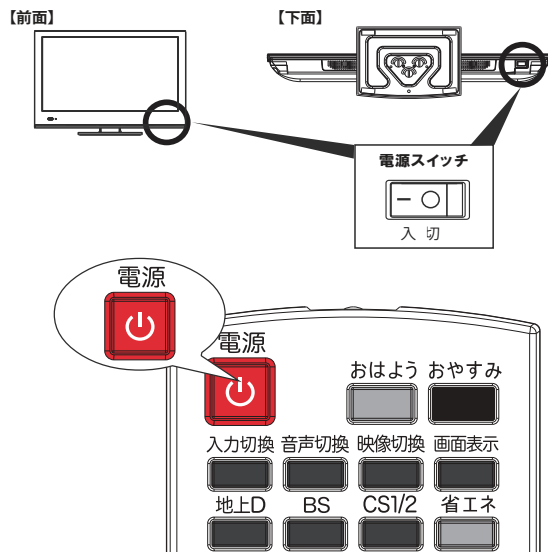
ご注意

- ・本機器は国内 AC100V の電源以外では使用しないでください。

電源を入れる

テレビをつける / 消すには（スタンバイモード）：

- 1 テレビの電源スイッチ（主電源）を押します。テレビがスタンバイモードになります。電源インジケータが点灯するまで待ち、本体またはリモコンの（電源）ボタンを押すとテレビの電源が入ります。



- 2 もう一度 ㊦（電源）ボタンを押すと、スタンバイモードになります。
- 3 テレビの電源を完全に切るには、本体下部の電源スイッチ（主電源）を切ってください。

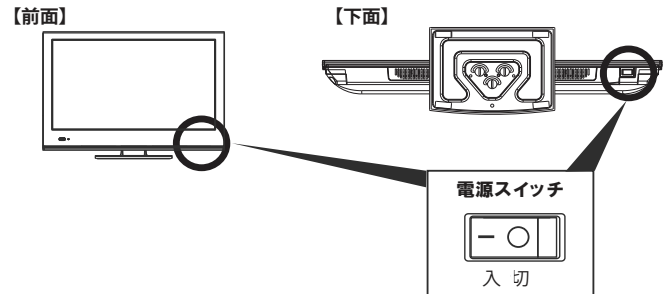
ご注意

- ・「無信号時電源オフ」を有効にすると、信号を受信できない状態が15分間続いたときに、自動的にスタンバイモードにすることができます（24 ページをご覧ください）。
- ・ソフトウェアをダウンロードするために、電源スイッチ（主電源）は異常や故障が発生したときや長時間使用しないとき以外は切らないでください。

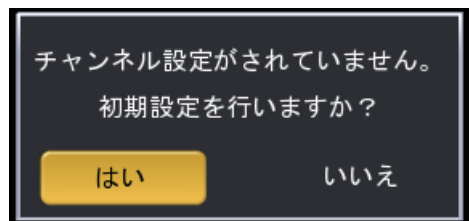
地上デジタル放送のチャンネルを設定する

チャンネルを設定するには：

- 1 リモコンに電池が入っていること、UHF アンテナが接続されていること、B-CAS カードが正しく挿入されていること、及び電源プラグが接続されていることを確認してください。
- 2 本体の電源を入れてください。テレビの電源スイッチを入れ、本体またはリモコンの電源ボタン ㊦（電源）を押してください。



- 3 チャンネル設定確認のメッセージが表示されます。



- 4 ◀▶ ボタンを押して「はい」を選択し、決定ボタンを押してください。地域選択画面が表示されます。



- 5 ◀▶ ボタンを押してお住まいの地域を選択してください。
- 6 ▼ ボタンを押し、「決定」を選択し決定ボタンを押してください。チャンネルスキャンが開始されます。スキャンが完了すると番組が表示されます。



データ放送の地域情報などを取得するには、「地域設定、郵便番号を設定する」（18 ページ）をご覧ください。

BS デジタル放送のチャンネルを設定する

BS 放送はあらかじめチャンネル設定されていますが、万一ご視聴になれないチャンネルがある場合には、以下の手順でチャンネル設定を行ってください。

BS デジタル放送のチャンネルを設定するには：

- 1 リモコンに電池を入れたこと、BS/CS 用アンテナケーブルを接続したこと、B-CAS カードを正しく挿入したこと、電源コードを差し込んだことを確認してください。
- 2 テレビの電源を入れてください。
- 3 BS ボタンを押して BS デジタル放送に切り替えてください。メニューボタンを押し、メニュー画面を開いてください。
- 4 ▲▼ボタンを押します。初期設定を選択し、決定ボタンを押してください。



- 5 ▲▼ボタンを押してチャンネルスキャンを選択し、決定ボタンを押してください。スキャンを開始します。



スキャンが完了すると番組を表示します。チャンネルスキャン中に、戻るボタンまたはメニューボタンを押してスキャンを中断することができますが、BS デジタル放送を視聴するには、再度チャンネル設定をする必要があります。

ご注意

- ・ BS デジタル放送が正しく受信できない場合には、アンテナ電源設定を変更してください。詳細については、「BS/CS アンテナ電源を設定する」(17 ページ)をご覧ください。

110 度 CS デジタル放送のチャンネルを設定する

110度CS デジタル放送はあらかじめチャンネル設定されていますが、万一ご視聴になれないチャンネルがある場合には、以下の手順でチャンネル設定を行ってください。

110 度 CS デジタル放送のチャンネル設定するには：

- 1 リモコンに電池を入れたこと、BS/CS 用アンテナケーブルを接続したこと、B-CAS カードを正しく挿入したこと、電源コードを差し込んだことを確認してください。
- 2 テレビの電源を入れてください。
- 3 CS1/2 ボタンを押して 110 度 CS デジタル放送に切り替えてください。メニューボタンを押し、メニュー画面を開いてください。
- 4 ▲▼ボタンを押します。初期設定を選択し、決定ボタンを押してください。



- 5 ▲▼ボタンを押してチャンネルスキャンを選択し、決定ボタンを押してスキャンを開始します。



スキャンが完了すると番組を表示します。チャンネルスキャン中に、戻るボタンまたはメニューボタンを押してスキャンを中断することができますが、110 度 CS デジタル放送を視聴するには、再度チャンネル設定をする必要があります。

ご注意

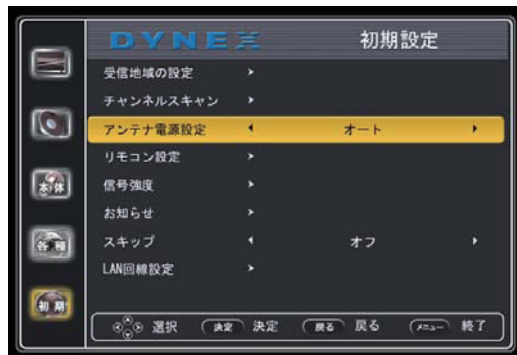
- ・ 110 度 CS デジタル放送が正しく受信できない場合には、アンテナ電源設定を変更してください。詳細については、「BS/CS アンテナ電源を設定する」(17 ページ)をご覧ください。

BS/CS アンテナ電源を設定する

BS・110 度 CS デジタル用アンテナは電源を必要とします。この設定はアンテナに対して電源を供給するためのものです。お客様の視聴環境に合わせて設定してください。

BS/CS アンテナ電源を設定するには：

- 1 テレビの電源を入れてください。
- 2 リモコンのBSまたはCS1/2ボタンを押してください。



- 3 メニューボタンを押してください。
- 4 ▲▼ボタンを押し、初期設定を選択し決定ボタンを押してください。
- 5 ▲▼ボタンを押し、アンテナ電源設定を選択し決定ボタンを押してください。
- 6 ◀▶ボタンを押し、設定を変更してください。
 - ・オート：アンテナ電源の設定を自動的に制御してアンテナに電源を供給します。
 - ・オン：テレビからアンテナに電源を供給します。
 - ・オフ：テレビからアンテナに電源を供給しません。

BS/CSアンテナへの電源供給の状態

	オート	オン	オフ
電源「切」時、スタンバイモード時	×	×	×
BS、110 度 CS デジタル放送視聴中	○	○	×
BS、110 度 CS デジタル放送以外の番組などを視聴中	×	○	×

- ※ 以下のような場合には設定を「オフ」にしてください。
- ・マンションなど共聴アンテナで視聴している場合
 - ・他の機器からアンテナに電源を供給している場合

信号強度を確認する

信号強度を本機で確認することができます。受信強度が 50%以下の場合にはお買い上げの販売店にご相談ください。

ご注意

- ・ ケーブルテレビ放送については、ご契約のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

画面表示で信号強度を確認する：

- 1 数字ボタンを押して信号強度を確認したいチャンネルを選択してください。
- 2 画面表示ボタンを押してください。

メニュー画面で信号強度を確認する：

- 1 入力切換ボタンを押して入力切換メニューを表示し、地上 D、BS、または CS1/2 を選択してください。
- 2 メニューボタンを押してください。
- 3 ▲▼ボタンを押し、初期設定を選択し決定ボタンを押してください。
- 4 ▲▼ボタンを押し、信号強度を選択し決定ボタンを押してください。

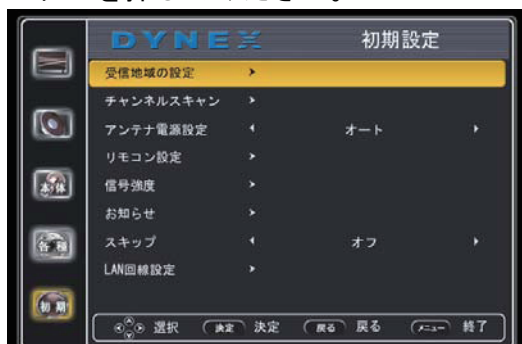


1	放送の種類
2	伝送チャンネル
3	信号強度

地域設定、郵便番号を設定する

お住まいの地域または郵便番号を設定するには：

- 1 リモコンの地上 D、BS、または CS1/2 ボタンを押し、画面をデジタル放送に切換えます。
- 2 メニューボタンを押してください。
- 3 ▲▼ボタンを押し初期設定を選択し、決定ボタンを押してください。



- 4 ▲▼ボタンを押して受信地域の設定を選択し、決定ボタンを押してください。



・「地域の選択」を設定する。

- 1 ▲▼ボタンを押し、「地域の選択」を選択し決定ボタンを押してください。
 - 2 ▲▼◀▶ボタンを押し、お住まいの地域を選択し、決定ボタンを押してください。
- ・※前画面に戻るには、戻るボタンを押してください。

北海道	東北	関東	甲信越 / 北陸
北海道 (札幌)	青森県	茨城県	新潟県
北海道 (旭川)	宮城県	群馬県	石川県
北海道 (釧路)	山形県	千葉県	山梨県
北海道 (室蘭)	岩手県	栃木県	富山県
北海道 (函館)	秋田県	埼玉県	福井県
北海道 (帯広)	福島県	東京都	長野県
北海道 (北見)		神奈川県	
		東京都島部	

中部 / 東海	近畿	中国 / 四国	九州 / 沖縄
岐阜県	滋賀県	鳥取県	福岡県
愛知県	大阪府	岡山県	長崎県
静岡県	奈良県	山口県	大分県
三重県	京都府	広島県	鹿児島県
	兵庫県	島根県	鹿児島県島部
	和歌山県	香川県	佐賀県
		愛媛県	熊本県
		徳島県	宮崎県
		高知県	沖縄県

・「郵便番号」を設定する

- 1 ▲▼ボタンを押し、「郵便番号の入力」を選択し、決定ボタンを押してください。
- 2 数字ボタンを押し、郵便番号を入力してください。誤って入力した場合には◀▶ボタンを押してカーソルを移動し、再入力してください。

テレビを見る

放送を切換える／ビデオなどを見る

放送を切換える／ビデオなどを見るには：

- 1 テレビの電源を入れ、リモコンの入力切換ボタンを押してください。入力切換メニューが開きます。

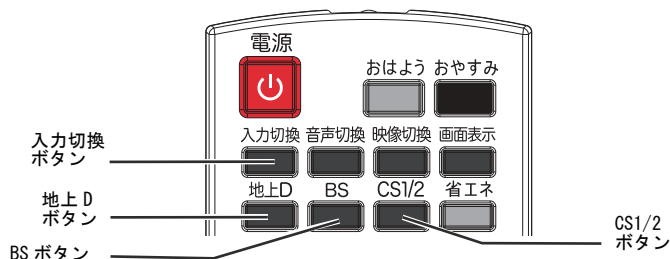


- 2 ▲▼ボタンを押して見たい機器または放送を選択し、決定ボタンを押してください。

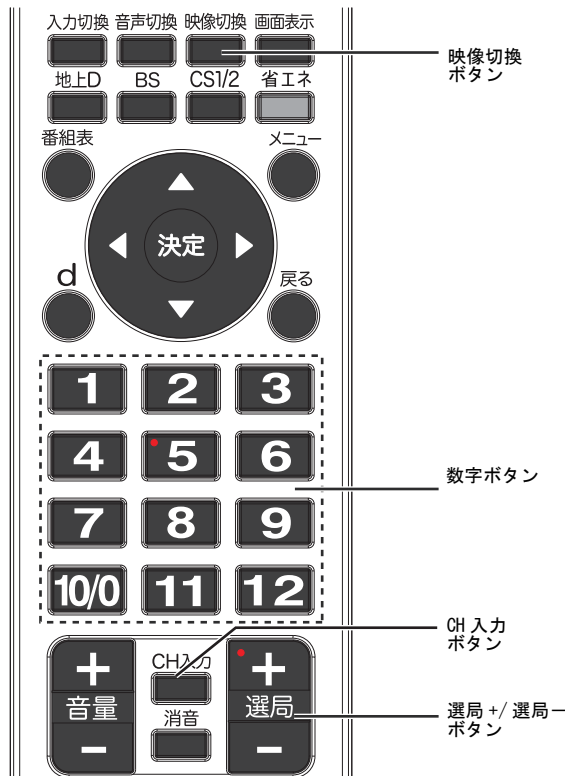
リモコンを使用して地上 D または BS/CS を選択するには：

- ・以下のリモコンのボタンを押すことによりワンタッチで放送（地上デジタル放送、BSデジタル放送など）を切換えできます。

- ・地上 D ボタン：地上デジタル放送に切換えます。
- ・BS ボタン：BS デジタル放送に切換えます。
- ・CS1/2 ボタン：110度CS デジタル放送に切換えます。押すごとに CS1 と CS2 を切換えます。



チャンネルを切換える



チャンネルを切換えるには：

- ワンタッチ選局するには：
数字ボタンを押してください。
数字ボタンには、各放送局のチャンネルが登録されており、ワンタッチ選局できます。
- 3桁入力で選局するには：
 - 地上D、BS、CS1/2 ボタンを押し、放送の種類を選択してください。
 - CH 入力ボタンを押してください。
 - 数字ボタンで3桁のチャンネル番号を入力してください。
- カメラアングルを変えた複数の映像が収録された番組を視聴している場合には、映像切替ボタンを押すことにより映像を切換えることができます。

音量を調節する

音量を調節するには：

- 音量 +/- ボタンを押して音量を調節します。
- 消音ボタンを押すと、一時的にすべての音が消えます。消音をもう一度押すと、元に戻ります。

音声を切換える

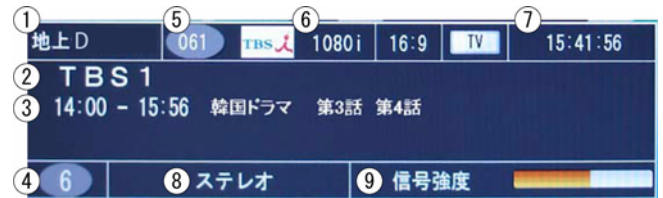
音声を切換えるには：

- 音声モードを切換えます。デジタル放送については、複数の音声を選択できます。（複数の音声収録されている場合）
- ※ボタンを押すごとに音声切替わりします。

画面表示を表示する

画面表示を表示するには：

- 画面表示ボタンを押すと、番組の情報が表示されます。
情報には、チャンネル番号、番組名など現在視聴中の番組情報が表示されます。
数秒すると時刻だけが画面右下に表示されます。もう一度画面表示ボタンを押すと時刻表示が消えます。



1	受信放送方式
2	テレビ局名
3	現在の番組の放送時間および番組名
4	リモコンチャンネル番号
5	チャンネル番号
6	解像度
7	現在の時刻
8	音声の種類
9	信号強度

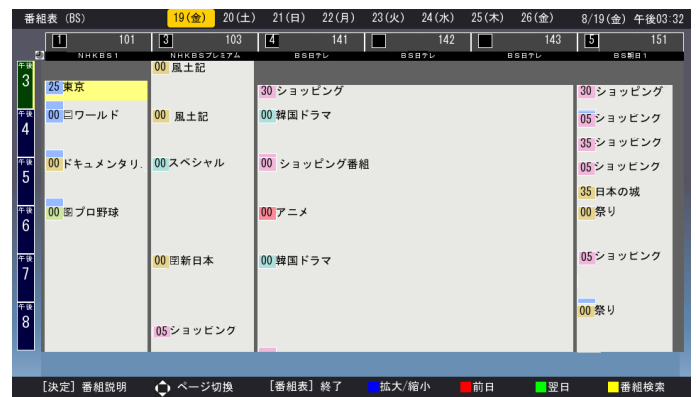
番組表（電子番組表）を使う

電子番組表では、（提供がある場合、最長 8 日間）番組スケジュールの詳細を見ることができます。表示される情報は、チャンネルの番号および名称、番組名、開始時刻および終了時刻、概要などです。

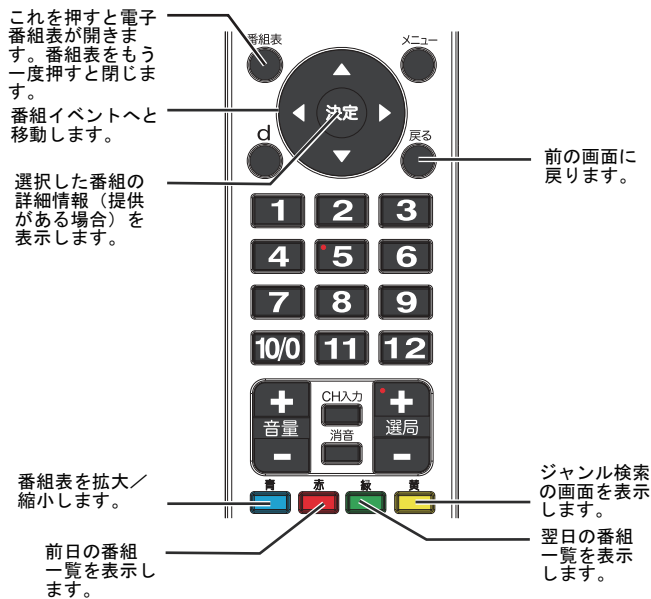
下図は BS デジタル放送の番組表の例です。

ご注意

- 番組表情報は、デジタル放送（地上 /BS/110 度 CS デジタル放送）を受信しているときのみ利用可能です。放送局により利用できない場合があります。

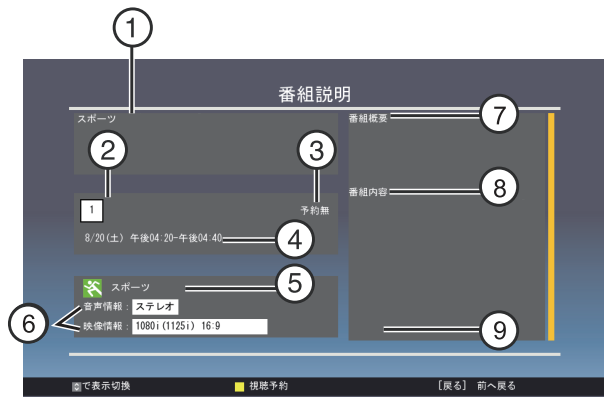


リモコンを利用して番組表を表示できます。



詳細情報を番組表から得るには：

- 1 リモコンの番組表ボタンを押してください。
- 2 番組内容を見たい番組を選択して、決定ボタンを押してください。詳細情報画面が表示されます（提供がある場合）。



1	番組名
2	放送局名
3	視聴予約状況
4	放送時間
5	番組の種類
6	音声情報 / 映像情報
7	番組概要
8	番組内容
9	出演者

- 3 ▲▼ボタンを押して、画面を上下にスクロールしてください。番組を予約するには、黄色ボタンを押してください。

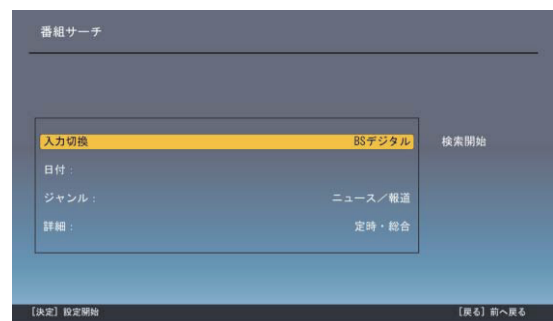
番組の視聴予約をするには：

番組表で視聴予約すると、設定した時刻に自動的に予約した番組に切り替わります。視聴予約できる番組の数は1番組までです。

- 1 番組表ボタンを押して番組表を表示してください。
- 2 ▲▼ボタンを押して視聴予約したい番組を選択し決定ボタンを押してください。
- 3 黄色ボタンを押してください。『視聴予約』と表示されます。
- 4 視聴予約をキャンセルするには、もう一度黄色ボタンを押してください。『予約無』と表示されます。

ジャンルから番組を検索するには：

- 1 リモコンの番組表ボタンを押して番組表を表示してください。



- 2 黄色ボタンを押してください。番組検索画面が表示されます。
- 3 ▲▼ボタンを押し、「入力切換」を選択し決定ボタンを押してください。
- 4 ▲▼ボタンを押し、放送種別（地上D、BS、CS）を選択し、決定ボタンを押してください。
- 5 ▲▼ボタンを押し、「日付」を選択し決定ボタンを押してください。
- 6 ▲▼ボタンを押し、検索したい日付を選択し決定ボタンを押してチェックマーク「✓」をつけてください。選択が終了したら「決定」を選択し決定ボタンを押してください。
- 7 ▲▼ボタンを押し、「ジャンル」を選択し決定ボタンを押してください。
- 8 ▲▼ボタンを押し、検索したいジャンルを選択し決定ボタンを押してください。
- 9 ▲▼ボタンを押し、「詳細」を選択し決定ボタンを押してください。
- 10 ▲▼ボタンを押し、検索したい詳細内容を選択し決定ボタンを押してください。
- 11 ▶ボタンを押し「検索開始」を選択し決定ボタンを押してください。該当する番組一覧が表示されます。
- 12 ▲▼ボタンを押し、見たい番組を選択し決定ボタンを押してください。番組の内容が表示されます。
- 13 戻るボタンを押すと番組一覧に戻ります。

データ放送を見る

- 1 リモコンの地上D、BS、またはCS1/2 ボタンを押し、画面をデジタル放送に切換えてください。
- 2 d ボタンを押してデータ放送を受信します。データ受信が始まるまで少し時間がかかりますので、画面にデータ情報が表示されるまでお待ちください。



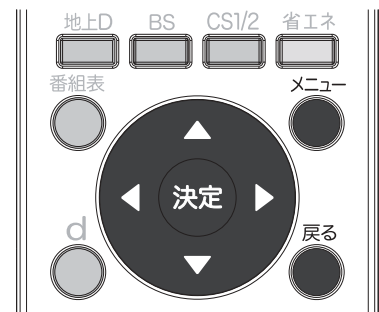
- 3 ▲▼◀▶ ボタンまたはカラーボタン（青・赤・緑・黄）ボタンを押して表示したい項目を選択し、決定ボタンを押してください。
- 4 前の画面に戻るには、戻るボタンを押してください。
- 5 データ受信を終了するには、d ボタンをもう一度押してください。

ご注意

- ・地域の放送局によってはデータサービスが利用できない場合があります。
- ・天気予報など情報によっては、郵便番号を設定する場合があります。詳細については、「リモコン設定」（25 ページ）をご覧ください。

メニュー画面を操作する

メニュー画面の概要



メニュー画面の操作方法：

- ・メニューボタンを押してメニュー画面を表示してください。
- ・▲▼ボタンを押して項目を選択し決定ボタンを押してください。映像設定、音声設定、本体設定、各種設定、初期設定を選択することができます。
- ・▲▼◀▶ ボタンを押して選択・調整し、決定ボタンを押して確定してください。
- ・前のメニューに戻るには、戻るボタンを押してください。
- ・メニューを閉じるには、メニューボタンを押してください。

メニュー画面

ご注意

- ・グレー（灰色）表示されているメニュー項目は選択できません。
- ・取扱説明書内のイラストや画面は説明用のものであり、実際の画面とは異なる場合があります。

映像設定



映像モード

コントラスト

輝度

色の濃さ

色合い

シャープネス

色温度

詳細設定

ノイズリダクション

ワイド切換

オーバースキャン

バックライト

省エネセンサー

音声設定



音声モード
低音
高音
バランス
ヘッドホン音量

各種設定



ダウンロード設定
字幕言語
字幕設定
文字スーパー設定
暗証番号設定
視聴年齢制限設定
個人情報
システム動作テスト

本体設定



言語	
OSD 表示時間	
シネマモード	
オートズーム	
無信号時電源オフ	水平位置
おやすみタイマー	垂直位置
おはようタイマー	位相
PC 設定	クロック周波数
工場出荷状態に戻す	自動調整

初期設定



受信地域の設定
チャンネルスキャン
アンテナ電源設定
リモコン設定
信号強度
お知らせ
スキップ
LAN 回線設定

映像を調整する

映像を調整するには：

- 1 メニューボタンを押してください。メニュー画面表示されます。
- 2 ▲▼ボタンを押し、映像設定を選択し、決定ボタンを押してください。
- 3 ▲▼ボタンを押し、設定したい項目を選択し決定ボタンを押してください。◀▶ボタンを押して調整します。
調整できる項目は以下のとおりです：
 - ・映像モード：映像モードを変更できます。
 - ・ダイナミック（明るく鮮明な画像）
 - ・スタンダード（標準的な画像）
 - ・省エネ（明るさを抑えた省電力画像）
 - ・シアター（映画鑑賞に最適な画像）
 - ・スポーツ（スポーツ観戦に最適な画像）
 - ・ユーザー設定（お好みに調整した画像）
 - ・コントラスト：コントラストを調整します。
 - ・輝度：明るさを調整します。
 - ・色の濃さ：色の濃さを調整します。
 - ・色合い：画像の色あいを調整します。
 - ・シャープネス：シャープネスを調整します。
 - ・色温度：画像の色温度を設定します。
 - 暖色（赤系を強調）
 - 寒色（青系を強調）
 - 標準
 - ・詳細設定：ノイズリダクションや省エネセンサーなどの調整ができます。
選択できる内容は次の通りです：
 - ・ノイズリダクション：画面のノイズやざらつきを軽減します。弱・中・強・オフを選択することができます。
 - ・ワイド切換：画像のアスペクト比を選択します。

オート	自動的に最適なアスペクト比で映します。
標準	通常のテレビ（4:3）の映像をそのまま映します。
ズーム	映像を拡大して映します。
ワイド	16:9 から 4:3 に圧縮された映像をもとの 16:9 に戻して画面いっぱいに映します。
シネマ	標準より横幅の広いワイドスクリーンの映画ソフトなどを画面いっぱいに映します。

ご注意

画像によっては最適な画面サイズで表示されない場合があります。

- ・オーバースキャン：16:9 の映像を少し大きめに表示します。
 - ・バックライト：画面のバックライトを調節します。省エネセンサーがオンに設定されているときには、調整できません。
 - ・省エネセンサー：この機能をオンにすると、室内の明るさをセンサーが感知して自動的に画面の明るさを調整します。
- 4 メニューを閉じるには、メニューボタンを押してください。

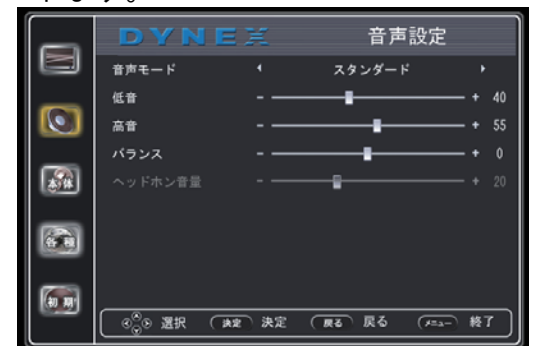
音声を調整する

音声を調整するには：

- 1 メニューボタンを押してください。メニュー画面が表示されます。



- 2 ▲▼ボタンして、音声設定を選択し決定ボタンを押してください。音声設定の画面が表示されます。



- 3 ▲▼ボタンを押して項目を選択し、決定ボタンを押してください。◀▶ボタンを押して選択した項目を調整できます。調整した後は決定ボタンを押してください。選択できる内容は次の通りです：
 - ・音声モード：音声モードを切換えます。選択できる内容は次の通りです。
 - ・スタンダード：ニュース、ドラマなど人の声が聞きやすい設定
 - ・シネマ：映画鑑賞に最適な迫力ある設定
 - ・ミュージック：音楽鑑賞に最適な低音を強調した設定
 - ・ユーザー設定：お好みに調整した設定
 - ・低音：低音を調整します。
 - ・高音：高音を調整します。
 - ・バランス：左右音声チャンネルのバランスを調整します。
 - ・ヘッドホン音量：ヘッドホンの音量を調節できます。ヘッドホン接続時は本体のスピーカーから音がでません。
- 4 メニューを閉じるには、メニューボタンを押してください。

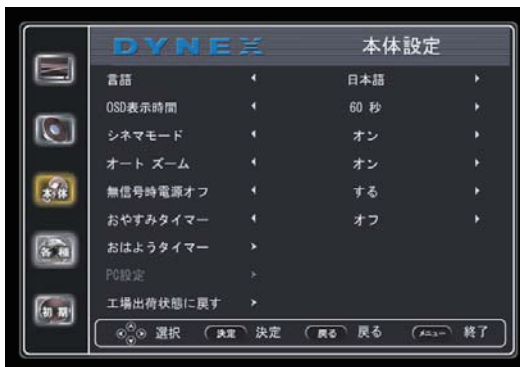
本体設定をする

本体設定をするには：

- 1 メニューボタンを押してください。メニュー画面が表示されます。



- 2 ▲▼ボタンを押して本体設定を選択し、決定ボタンを押してください。メニュー画面が表示されます。



- 3 ▲▼ボタンを押し、設定したい項目を選択し決定ボタンを押してください。◀▶ボタンを押して調整します。
調整できる項目は以下のとおりです：

- ・言語：
 - メニュー画面の言語を選択します。
 - 日本語または英語を選択できます。
- ・OSD 表示時間：
 - メニュー画面の表示時間を変更できます。
 - ※最大 60 秒
- ・シネマモード：
 - 古い映画を視聴した際に、ノイズを低減します。
 - ※ソフト（映画）によっては効果がえられないものもあります。
- ・オートズーム：
 - 画像を最適な大きさに自動で切換えます。
- ・無信号時電源オフ：
 - 放送終了後など信号を受信できない状態が続くとスタンバイモードになるように設定できます。
- ・おやすみタイマー：
 - おやすみタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れてスタンバイモードになります。
 - ※電源が切れると設定は解除されます。

- ・おはようタイマー：

おはようタイマーを設定すると、テレビを指定した時間に待機状態から解除しオンにすることができます。詳細については、下記の「各種設定をする」をご覧ください。

- ・PC 設定:PC 設定サブメニューを使用して、パソコンの画像を調整します。詳細については、「パソコンのモニターとして使用する」(12ページ)をご覧ください。

- ・工場出荷状態に戻す：工場出荷状態に戻すと、チャンネル設定、データ放送の個人情報などについても全て初期化されます。ご注意ください。

- 4 メニューを閉じるには、メニューボタンを押します。

ご注意

- ・おはようタイマー、おやすみタイマーは、リモコンの「おはよう」「おやすみ」ボタンからもタイマーの設定ができます。

各種設定をする

各種設定をするには：

- 1 リモコンの地上 D、BS、または CS1/2 ボタンを押し、画面をデジタル放送に切換えます。
- 2 メニューボタンを押してください。
- 3 ▲▼ボタンを押し各種設定を押し、決定ボタンを押してください。



- 4 ▲▼ボタンを押し、設定したい項目を選択し決定ボタンを押してください。◀▶ボタンを押して調整します。

調整できる項目は以下のとおりです：

- ・**ダウンロード設定**：本機は BS や地上デジタルの放送波で送られるソフトウェアをダウンロードし自動更新する機能があります。お買い上げ時は自動ダウンロードするように設定されています。「はい」のまま、お使いいただくことをおすすめします。
- ・**字幕言語**：字幕言語を選択します。日本語または英語（提供がある場合）を選択できます。
- ・**字幕設定**：オンにすると、字幕言語が有効になります。オフにすると、字幕言語が無効になります。本機能がオンになっていると、画面で字幕言語を見ることができます（情報がある場合）。
- ・**文字スーパー設定**：オンにすると、文字スーパーが有効となります（提供がある場合）。オフにすると、この機能は無効になります。
- ・**暗証番号設定**：視聴年齢制限設定のパスワードを設定／変更します。工場出荷時設定では、パスワードは 0000 となっています（変更することをおすすめします）。視聴年齢制限設定にはパスワードが必要です。
- ・**視聴年齢制限設定**：お子様に不適切なテレビ番組の視聴を制限します。視聴年齢制限で制限された番組を視聴するには、パスワードを入力する必要があります。詳細については、「暗証番号を設定し視聴できる番組を制限する」(27 ページ)をご覧ください。
- ・**個人情報**：地域設定、郵便番号などの設定を初期化します。
- ・**システム動作テスト**：B-CAS カードの情報やネットワーク（LAN 回線）の接続状況を確認できます。

- 5 メニューを閉じるには、メニューボタンを押してください。

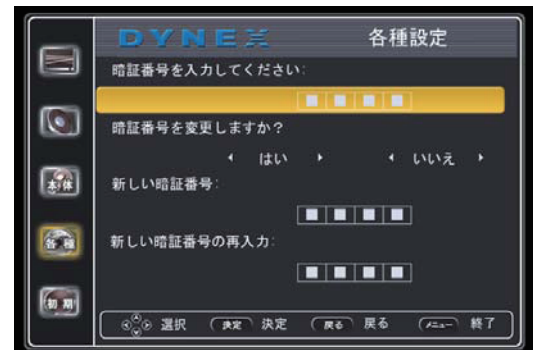
暗証番号を設定し視聴できる番組を制限する

暗証番号を設定／変更するには：

- 1 メニューボタンを押してください。
- 2 ▲▼ボタンを押し、各種設定を選択し決定ボタンを押してください。



- 3 ▲▼ボタンを押し暗証番号設定を選択し決定ボタンを押してください。



- 4 数字ボタンを使用して暗証番号入力を入力します。（初期設定されている暗証番号入力は 0000 です。）
- 5 暗証番号を変更する場合は、◀▶ボタンを押して「はい」を選択し、決定ボタンを押してください。
- 6 数字ボタンを使用して新しい暗証番号を入力してください。
- 7 確認のため、もう一度新しい暗証番号を入力します。新しい暗証番号が作成されます。

ご注意

- ・暗証番号はメモをして保管するようにしてください。暗証番号を忘れた場合は、9999 を押してください。

視聴年齢制限設定

視聴年齢制限設定を変更するには：

- 1 メニューボタンを押してください。
- 2 ▲▼ボタンを押して各種設定を選択し決定ボタンを押してください。



- 3 ▲▼ボタンを押して視聴年齢制限設定を選択し、決定ボタンを押してください。



- 4 数字ボタンを使用して暗証番号を入力します。
- 5 ▲▼ボタンを押して、視聴制限する年齢を設定してください。
(4歳～21歳)
例) 10歳以下のお子様に相応しくないテレビ番組を制限する場合には視聴年齢制限設定を10歳に設定してください。視聴年齢制限設定を解除する場合には、「制限なし」を選択してください。



初期設定をする

初期設定をするには：

- 1 リモコンの地上D、BS、またはCS1/2ボタンを押し、画面をデジタル放送に切換えます。
- 2 メニューボタンを押してください。
- 3 ▲▼ボタンを押して初期設定を選択し、決定ボタンを押してください。



- 4 ▲▼ボタンを押して、設定したい項目を選択し決定ボタンを押してください。◀▶ボタンを押して調整します。

調整できる項目は以下のとおりです：

・**受信地域の設定**：お住まいの地域の放送を受信できるように設定します。

詳細については「地域設定、郵便番号を設定する」(18ページ)をご覧ください。

チャンネルスキャン：各放送(地上、BS、110度CSデジタル放送)のチャンネル設定をします。

詳細については「テレビを見るための設定をする」(15、16ページ)をご覧ください。

アンテナ電源設定：BS・110度CSデジタル用アンテナへの電源供給の設定をします。

詳細については「BS/CSアンテナ電源を設定する」をご覧ください。

リモコン設定：リモコンの数字ボタンに割り当てる放送局を登録/変更できます。

詳細については「リモコン設定」(27ページ)をご覧ください。

信号強度：テレビ放送の受信状態を確認します。

詳細については「信号強度を確認する」(17ページ)をご覧ください。

お知らせ：B-CASカード情報、メール、ソフトウェアバージョンの情報を確認できます。

スキップ：選局+/-ボタンを使って選局する時に不要なチャンネルをスキップすることができます。詳細については「チャンネルをスキップする(とばす)」(27ページ)をご覧ください。

LAN回線設定：ネットワークの設定をすることができます。詳細については「ネットワークへの接続」(13ページ)をご覧ください。

- 5 メニューを閉じるには、メニューボタンを押してください。

リモコン設定

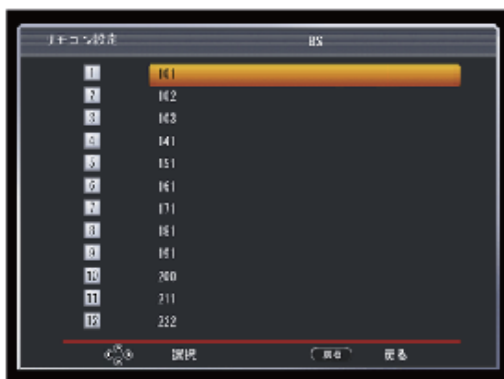
本機能は、数字ボタンをショートカットキーとして設定できます。

リモコンでショートカットキーを設定するには：

- 1 リモコンの地上 D、BS、または CS1/2 ボタンを押し、画面をデジタル放送に切換えます。
- 2 メニューボタンを押してください。
- 3 ▲▼ボタンを押して初期設定を選択し、決定ボタンを押してください。



- 4 ▲▼ボタンを押し、リモコン設定を選択し決定ボタンを押してください。



- 5 ▲▼ボタンを押して、リモコンの番号を選択し、◀▶ボタンを押して、リモコンに割りあてるチャンネルを選択します。
例えばリモコンのボタン「1」を押したときにチャンネル「101」を視聴するよう設定したい場合には▲▼ボタンを押して「1」を選択し、◀▶ボタンを押して「101」を選択してください。終了するには戻るボタンを押してください。

チャンネルをスキップする（とばす）

選局＋／－ボタンを使って選局したときに不要なチャンネルをスキップすることができます。

チャンネルをスキップするには：

- 1 スキップしたいチャンネルを選択（視聴）してください。
- 2 メニューボタンを押して、メニュー画面を開きます。
- 3 ▲▼ボタンを押して初期設定を選択し、決定ボタンを押してください。



- 4 ▲▼ボタンを押しスキップを選択し、◀▶ボタンを押して設定をオンに変更します。
(解除するときは設定をオフにしてください)

お知らせを見る

B-CASカード情報、メール、本体のソフトウェアバージョンなどの情報を確認できます。

お知らせ画面を開くには：

- 1 メニューボタンを押してください。
- 2 ▲▼ボタンを押して初期設定を選択し、決定ボタンを押してください。
- 3 ▲▼ボタンを押してお知らせを選択し、決定ボタンを押してください。



1	B-CASカード情報：決定ボタンを押すと B-CAS カードの情報を確認できます。
2	メール：決定ボタンを押してアクセスします（この画面からメールを読んだり、削除できます。画面の指示に従って操作してください。）
3	ソフトウェアバージョン

壁掛け金具を取り付ける

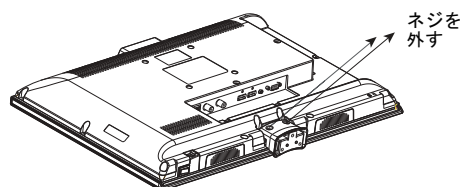
ご注意

- ・ 壁掛け設置工事が不完全な場合、本機が落下しけがの原因となる恐れがあります。壁掛け設置をする際には必ずお近くの取扱店または取り付け業者にご相談ください。

壁掛け金具（別売）を本機に取り付けるには、スタンドとスタンドの支柱を取り外す必要があります。

スタンドの支柱を取り外すには：

- 1 傷がつかないように注意して本体をテーブルなどの上に置いてください。
※ 柔らかいクッションや布などをテーブルなどの上に敷いてからテレビを置いてください。
- 2 スタンドを固定しているネジを外し、スタンドを取り外します。
- 3 スタンドの支柱を固定しているネジを外し、支柱を取り外します。



ご注意

- ・ イラスト内の製品はあくまで説明用のものです。実際の製品外観とは異なる場合があります。

壁掛け金具をテレビに装着するには：

- ・ 壁掛け金具は、VESA 規格に準じたものを使用してください。お買い上げの販売店にご相談ください。

節電機能を使う

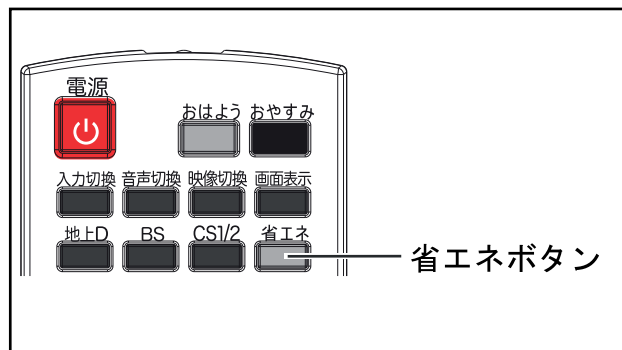
本機は節電のために以下の機能を搭載しています。

- ・ 省エネセンサー
部屋の明るさに応じて画面の明るさ(バックライト)を調整します。
- ・ 無信号時電源オフ
放送終了後など長時間番組が映らないときに電源を切る
- ・ おやすみタイマー
指定した時間後に電源を切る
テレビを見ながらお休みになるときに、電源の切り忘れを防ぐことができます。

※工場出荷時は、「省エネセンサー」および「無信号時電源オフ」は有効(オン)になっています。

省エネセンサーを有効にするには

- 1 リモコンの「省エネ」ボタンを押してください。
画面に「省エネセンサー オン」と表示されます。



省エネセンサーが働くと、「省エネセンサーが作動しました」と画面に表示されます。

※メニュー画面から設定することもできます。
詳細については「映像を調整する」(23ページ)をご覧ください。

無信号時電源オフを有効にするには

- 1 メニューボタンを押してください。
メニュー画面が表示されます。
- 2 ▲▼ボタンを押し、「本体設定」を選択し決定ボタンを押してください。
- 3 ▲▼ボタンを押し、「無信号時電源オフ」を選択し決定ボタンを押してください。
- 4 ◀▶ボタンを押し、「する」を選択し決定ボタンを押してください。

おはよう／おやすみタイマーを使う

おはようタイマーを使うには

おはようタイマーを設定すると指定した時刻に自動的に電源が入るように設定できます。

- 1 リモコンのおはようボタンを押してください。
おはようタイマー設定が画面が表示されます。
- 2 ◀▶ボタンを押してモードを選択してください。
・ 以下のモードを選択できます。
オフ⇒1回のみ⇒毎日
※おはようタイマーを解除するにはオフを選択してください。
- 3 ▲▼ボタンを押して「起床時刻設定」を選択し決定ボタンを押してください。
カーソルが午前/午後の欄に移動します。

- 4 決定ボタンを押して、「午前/午後」を選択し▶ボタンを押してください。
- 5 ▲▼ボタンを押して、「時」を設定し▶ボタンを押してください。
- 6 ▲▼ボタンを押して、「分」を設定し▶ボタンを押してください。
- 7 ▶ボタンを押して「決定」を選択し決定ボタンを押してください。
おはようタイマーが設定されます。

おやすみタイマーを使うには

おやすみタイマーを設定すると指定した時間後に電源を切ることができます。

テレビを見ながらお休みになるときに、電源の切り忘れを防ぐことができます。

- 1 リモコンのおやすみボタンを押してください。
- 2 繰り返しおやすみボタンを押してタイマーを設定する

ボタンを押すごとに以下のように画面の表示が変わります。

オフ⇒5分⇒10分⇒15分⇒30分⇒60分
⇒90分⇒120分⇒180分⇒240分⇒オフ

地上デジタル放送チャンネル一覧

地上デジタル放送チャンネル一覧

長野県	地域名
1 NHK総合・長野	放送局名
2 NHK教育・長野	
4 テレビ信州	
5 ABN長野朝日放送	
6 SBC信越放送	
8 NBS長野放送	
	チャンネル番号

表：H.19.11.30 現在

北海道（帯広）	北海道（釧路）	北海道（北見）	北海道（旭川）	北海道（旭川 空知）
3 NHK総合・帯広	3 NHK総合・釧路	3 NHK総合・北見	3 NHK総合・旭川	3 NHK総合・旭川
2 NHK教育・帯広	2 NHK教育・釧路	2 NHK教育・北見	2 NHK教育・旭川	2 NHK教育・旭川
1 HBC帯広	1 HBC釧路	1 HBC北見	1 HBC旭川	1 HBC旭川
5 STV帯広	5 STV釧路	5 STV北見	5 STV旭川	5 STV旭川
6 HTB帯広	6 HTB釧路	6 HTB北見	6 HTB旭川	6 HTB旭川
8 UHB帯広	8 UHB釧路	8 UHB北見	8 UHB旭川	8 UHB旭川
7 TVH帯広	7 TVH釧路	7 TVH北見	7 TVH旭川	7 TVH旭川
北海道（札幌）	北海道（函館）	北海道（室蘭）	青森県	岩手県
3 NHK総合・札幌	3 NHK総合・函館	3 NHK総合・室蘭	3 NHK総合・青森	1 NHK総合・盛岡
2 NHK教育・札幌	2 NHK教育・函館	2 NHK教育・室蘭	2 NHK教育・青森	2 NHK教育・盛岡
1 HBC札幌	1 HBC函館	1 HBC室蘭	1 RAB青森放送	6 IBCテレビ
5 STV札幌	5 STV函館	5 STV室蘭	6 ATV青森テレビ	4 テレビ岩手
6 HTB札幌	6 HTB函館	6 HTB室蘭	5 青森朝日放送	8 めんこいテレビ
8 UHB札幌	8 UHB函館	8 UHB室蘭		5 岩手朝日テレビ
7 TVH札幌	7 TVH函館	7 TVH室蘭		
宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県
3 NHK総合・仙台	1 NHK総合・秋田	1 NHK総合・山形	1 NHK総合・福島	1 NHK総合・水戸
2 NHK教育・仙台	2 NHK教育・秋田	2 NHK教育・山形	2 NHK教育・福島	2 NHK教育・東京
1 TBCテレビ	4 ABS秋田放送	4 YBC山形放送	8 福島テレビ	4 日本テレビ
8 仙台放送	8 AKT秋田テレビ	5 YTS山形テレビ	4 福島中央テレビ	6 TBS
4 ミヤギテレビ	5 AAB秋田朝日放送	6 テレビユー山形	5 KFB福島放送	8 フジテレビジョン
5 KHB東日本放送		8 さくらんぼテレビ	6 テレビユー福島	5 テレビ朝日
				7 テレビ東京
				12 放送大学
栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都
1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京
2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京
4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ
6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS
8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン
5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日
7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京
3 とちぎテレビ	3 群馬テレビ	3 テレ玉	3 チバテレビ	9 TOKYO MX
12 放送大学	12 放送大学	12 放送大学	12 放送大学	12 放送大学

地上デジタル放送チャンネル一覧

東京都 (伊豆小笠原)	神奈川県	新潟県	富山県	石川県
1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・新潟	3 NHK総合・富山	1 NHK総合・金沢
2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・新潟	2 NHK教育・富山	2 NHK教育・金沢
4 日本テレビ	4 日本テレビ	6 BSN	1 KNB北日本放送	4 テレビ金沢
6 TBS	6 TBS	8 NST	8 BBT富山テレビ	5 北陸朝日放送
8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	4 TeNY テレビ新潟	6 チューリップテレビ	6 MRO
5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 新潟テレビ21		8 石川テレビ
7 テレビ東京	7 テレビ東京			
9 TOKYO MX	3 tvk			
12 放送大学	12 放送大学			
福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県
1 NHK総合・福井	1 NHK総合・甲府	1 NHK総合・長野	3 NHK総合・岐阜	1 NHK総合・静岡
2 NHK教育・福井	2 NHK教育・甲府	2 NHK教育・長野	2 NHK教育・名古屋	2 NHK教育・静岡
7 FBCテレビ	4 YBS山梨放送	4 テレビ信州	1 東海テレビ	6 SBS
8 福井テレビ	6 UTY	5 abn長野朝日放送	5 CBC	8 テレビ静岡
		6 SBC信越放送	6 メ〜テレ	4 静岡第一テレビ
		8 NBS長野放送	4 中京テレビ	5 静岡朝日テレビ
			8 岐阜テレビ	
愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府
3 NHK総合・名古屋	3 NHK総合・津	1 NHK総合・大津	1 NHK総合・京都	1 NHK総合・大阪
2 NHK教育・名古屋	2 NHK教育・名古屋	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪
1 東海テレビ	1 東海テレビ	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送
5 CBC	5 CBC	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ
6 メ〜テレ	6 メ〜テレ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ
4 中京テレビ	4 中京テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ
10 テレビ愛知	7 三重テレビ	3 BBCびわ湖放送	5 KBS京都	7 テレビ大阪
兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県
1 NHK総合・神戸	1 NHK総合・奈良	1 NHK総合・和歌山	3 NHK総合・鳥取	3 NHK総合・松江
2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・鳥取	2 NHK教育・松江
4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	8 山陰中央テレビ	8 山陰中央テレビ
6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 BSSテレビ	6 BSSテレビ
8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	1 日本海テレビ	1 日本海テレビ
10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ		
3 サンテレビ	9 奈良テレビ	5 テレビ和歌山		
岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県
1 NHK総合・岡山	1 NHK総合・広島	1 NHK総合・山口	3 NHK総合・徳島	1 NHK総合・高松
2 NHK教育・岡山	2 NHK教育・広島	2 NHK教育・山口	2 NHK教育・徳島	2 NHK教育・高松
4 RNC 日本テレビ	3 RCCテレビ	4 KRY山口放送	1 四国放送	4 RNC 日本テレビ
5 KSB 瀬戸内海放送	4 広島テレビ	3 t y sテレビ山口		5 KSB 瀬戸内海放送
6 RSKテレビ	5 広島ホームテレビ	5 y a b山口朝日		6 RSKテレビ
7 テレビせとうち	8 TSS			7 テレビせとうち
8 OHKテレビ				8 OHKテレビ
愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県
1 NHK総合・松山	1 NHK総合・高知	3 NHK総合・福岡	1 NHK総合・佐賀	1 NHK総合・長崎
2 NHK教育・松山	2 NHK教育・高知	3 NHK総合・北九州	2 NHK教育・佐賀	2 NHK教育・長崎
4 南海放送	4 高知放送	2 NHK教育・福岡	3 STSサガテレビ	3 NBS長崎放送
5 愛媛朝日	6 テレビ高知	2 NHK教育・北九州		8 KTNテレビ長崎
6 あいテレビ	8 さんさんテレビ	1 KBC九州朝日放送		5 NCC長崎文化放送
8 テレビ愛媛		4 RKB毎日放送		4 NIB長崎国際テレビ
		5 FBS福岡放送		
		7 TVQ九州放送		
		8 TNCテレビ日本		

地上デジタル放送チャンネル一覧

熊本県		大分県		宮崎県		鹿児島県		鹿児島県 (南西諸島)	
1	NHK総合・熊本	1	NHK総合・大分	1	NHK総合・宮崎	3	NHK 総合・鹿児島	3	NHK 総合・鹿児島
2	NHK教育・熊本	2	NHK教育・大分	2	NHK教育・宮崎	2	NHK 教育・鹿児島	2	NHK 教育・鹿児島
3	RKK熊本放送	3	OBS大分放送	6	MRT宮崎放送	1	MBC南日本放送	1	MBC南日本放送
8	TKUテレビ熊本	4	TOSテレビ大分	3	UMKテレビ宮崎	8	KTS鹿児島テレビ	8	KTS鹿児島テレビ
4	KKT くまもと県民	5	OAB 大分朝日放送			5	KKB 鹿児島放送	5	KKB 鹿児島放送
5	KAB 熊本朝日放送					4	KYT 鹿児島読売 TV	4	KYT 鹿児島読売 TV
沖縄県									
1	NHK総合・那覇								
2	NHK教育・那覇								
3	RBCテレビ								
5	QAB 琉球朝日放送								
8	沖縄テレビ (OTV)								

※掲載外の地域については、販売店にご相談ください。

仕様

デザインおよび仕様は予告なく変更されることがあります。
寸法および重量は概算値です。

商品名	地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ
型番	DX-19E220J12（19 インチ） DX-22E230J12（22 インチ）
バックライト	LED
画面サイズ (幅 × 高 × 対角)	410mm × 255mm × 470mm（19 インチ） 477mm × 292mm × 681mm（22 インチ）
電源	AC 100V 50/60Hz
消費電力	30W（19 インチ）：38W（22 インチ） 待機時電力：0.5W（19 インチ、22 インチ）
年間消費電力量	43 kWh/ 年（19 インチ） 50 kWh/ 年（22 インチ）
区分名	* 省エネモード時 DK（19 インチ） DC（22 インチ）
スピーカー サイズ	70 x 30 mm（19 インチ） 70 x 28 mm（22 インチ）
オーディオ 出力	3.0 W × 2（19 インチ） 3.0 W × 2（22 インチ）
受信チャンネル	地上デジタル：VHF 1 ～ 12ch、UHF 13 ～ 62ch BS デジタル：BS 1 ～ 23ch 110 度 CS デジタル：000 ～ 999ch CATV：13 ～ 63ch（パススルー対応） VHF 帯 1 ～ 12ch UHF 帯 C13 ～ C63ch MID バンド C13 ～ C22ch SHB バンド C23 ～ C63ch * 同一周波数パススルー方式、周波数変換 パススルー方式に対応しています。
動作温度	5℃～40℃
外形寸法 (幅 × 高 × 奥行)	DX-19E220J12 460 × 333 × 140 mm（スタンドを含む） 460 × 308 × 55 mm（スタンドを含まず） DX-22E230J12 529 × 372 × 140 mm（スタンドを含む） 529 × 348 × 54 mm（スタンドを含まず）
質量	DX-19E220J12 3.4 kg（スタンドを含む） 3.0 kg（スタンドを含まず） DX-22E230J12 4.0 kg（スタンドを含む） 3.6 kg（スタンドを含まず）

接続端子	VHF/UHF 用アンテナアンテナ端子（1） BS/CS 用アンテナアンテナ端子（1） ビデオ入力端子（1） PC 入力端子（ミニ D-Sub15 ピン、ステレオミニジャック） HDMI 入力端子（2） LAN 端子（1） ヘッドホン接続端子（1） 光デジタルオーディオ出力端子（1）
付属品	リモコン 単 4 形乾電池（2） スタンド一式 スタンド（1） 固定用ネジ（3） 転倒・落下防止部品一式 ベルト（1） 取付ネジ（1） 取扱説明書（1） 簡単セットアップガイド（1） B-CAS カード（1） 保証書（1）

困ったときは

ご注意：内部の点検・調整および修理は、お買上げの販売店にご依頼ください。

こんな時には	確認事項	対処の方法
電源が入らない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか ・本体の電源スイッチは入っていますか ・リモコンの電池が切れていませんか	・電源プラグをコンセントに差し込む ・本体の電源スイッチを入れる（P15 参照） ・リモコンの電池を新しい電池と交換する
映像も音声も出ない	・B-CASカードを正しく挿入していますか ・テレビ放送を見たいのにビデオ入力などになっていませんか ・アンテナ線が外れていませんか ・アンテナをさえぎる障害物はありませんか ・アンテナの向きがずれていませんか ・アンテナの信号強度は、低くなっていますか ・アンテナは電波の種類（地上デジタル、BS、110度CS放送）に適合したアンテナを使用していますか ・BS、110度CS放送の場合、地域に適したサイズのアンテナを使用していますか ・春分や秋分の前後20日程度は人工衛星が地球の影になるため深夜一時的に電波が止まる場合があります ・BS、110度CSデジタル放送だけが映らない場合には、アンテナ電源供給の設定がOFFになっていませんか	・B-CAS カードを挿し直す（P10 参照） ・地上 D または BS ボタンを押し放送を切換える ・アンテナ線を接続する ・木などの障害物がある場合は、お買上げの販売店にご相談ください ・アンテナの向きを調整する ・信号強度を確認してください（P17 参照） 信号強度が低い場合には、お買上げの販売店にご相談ください ・お買上げの販売店にご相談ください ・お買上げの販売店にご相談ください ・故障ではありません ・マンションなどの共聴アンテナ以外では、アンテナ電源供給を ON にしてください（P17 参照）
引越しをしたら映らなくなった	・引越した場合には、再度チャンネルを設定する必要があります。チャンネル設定をしましたか？ ・本体底面にある電源スイッチが切れていませんか？	・チャンネル設定をする（P15 参照） ・主電源スイッチを入れてください。（P15 参照）
特定のチャンネルだけが映らない	・チャンネルの受信設定がずれていませんか ・契約していない有料放送ではありませんか ・アンテナとの接続にデジタル放送に対応していないケーブルや機器を使用していないですか	・チャンネル設定をする（P15 参照） ・視聴手続きをする ・ケーブルや機器をデジタル放送対応のものと交換する
有料放送が視聴できない	・B-CAS カードが正しく挿入されているか確認してください。 ・有料放送を視聴するための手続はお済みですか	・B-CAS カードを挿し直す ・視聴手続きをする
引越しをしたら、文字スーパー表示やデータ放送が表示されなくなった	・データ放送の地域設定は正しいですか	・新住所にあわせて地域設定を再設定する（P29 参照）

こんな時には	確認事項	対処の方法
電子番組表が表示されない	・地上デジタル放送の場合、ご視聴されていないチャンネルの情報は電子番組表には表示されません。 ・電源を入れた後、最初に番組表を表示する際は、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。	・故障ではありません
映像は出るが音声が出ない。または音声は出るが映像が出ない	・映像・音声接続ケーブルが抜けていませんか	・映像・音声接続ケーブルを接続する
ビデオが映らない	・ビデオ機器の電源プラグがコンセントから抜けていませんか ・ビデオ機器の電源は入っていますか ・接続している機器の映像設定は誤っていませんか。レコーダーなど HDMI 端子を装備した機器と接続する場合、接続している機器で映像設定をする必要があります。 ・HDMI ケーブルによっては接続の向きが決められているものがあります。 ・入力切換は再生する機器を選択していますか	・ビデオ機器の電源プラグをコンセントに差し込む ・ビデオ機器の電源を入れる ・HDMI 端子接続状態に合わせて接続機器の映像設定を変更してください。 * 設定方法は接続機器の取扱説明書にしたがってください。 ・HDMI ケーブルの向きを逆にして接続する ・入力切換ボタンを数回押し再生する機器を選択する
リモコンが動作しない	・乾電池の極性＋－が逆になっていませんか ・リモコンの電池が消耗していませんか ・テレビとの距離が遠くありませんか ・リモコンをテレビの方向に向けていますか ・リモコンと本体の間に障害物がありませんか ・リモコン受光部に直射日光や照明など強い光が当たっていませんか	・乾電池を正しい向きに入れなおす ・新しい乾電池と交換する ・リモコンの受信可能距離（約 5m 以内）で使用する ・本体前面左下のリモコン受光部にリモコンを向ける ・障害物を片付ける ・リモコン受光部に強い光が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。照明の向きを変えるなどしてください。 ・受信設備減衰のために（映りなどに影響することもあります）操作切換が遅くなることがあります。（天候などの環境によって信号強度の数値が変動するとノイズの影響を受けます。）
ビデオやレコーダーのリモコンで本機を使用できない	・本機のリモコン信号は他メーカーの機器に登録できません。	・故障ではありません。
音声が出ない	・音量が最小になっていませんか ・消音になっていませんか ・ヘッドホンのプラグがヘッドホン端子に差し込まれていませんか	・音量を上げる ・消音ボタンを押す ・ヘッドホン端子からヘッドホンのプラグをはずす
色が薄い、色合いが悪い	・色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか	・色の濃さ、色合いを調整する（P22 参照）
画面にノイズが出る	・UHF/VHF のアンテナケーブルが BS、110 度 CS のアンテナケーブルと接近していませんか	・2 つのアンテナケーブルを離して設置する

こんな時には	確認事項	対処の方法
モザイク状のノイズ（ブロックノイズ）が出る	・積雪や豪雨、雷などが発生していませんか ・特に動きの激しい画面で発生しますか	・デジタル放送受信の特性上、以下のような場合に発生することがあります。 故障ではありません * 降雨対応放送の映像の場合 * 悪天候などで受信状態が悪化した場合 * 画面の激しい変化に映像処理が対応できない場合 * 本機の近くで通信装置などを使用する場合
テレビの上部が熱い	・内部の回路から発生する熱で温まった空気が本体の上部を通して抜ける構造になっているため、上部が温かくなります	・故障ではありません
ときどき「ピシッ」と音がする	・温度変化によりキャビネットがわずかに伸縮する音です	・故障ではありません
リモコンや本体の操作ができない	・外部からの雑音や妨害ノイズが原因の可能性があります	・本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて約1分放置した後、再度差し込み電源を入れる
110度CSデジタル放送の特定のチャンネルが映らない	・放送局が本機に登録されていない	・110度CSデジタル放送のチャンネルを再設定してください。（P16参照）
画面に光る点、または光らない点がある	・液晶パネルは非常に精細な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯するものがありますのでご了承ください。	・故障ではありません

画面に出るエラー表示

Error Number	画面に出るエラー表示	原因	対処の方法
E100	B-CAS カードを挿入してください。	・B-CAS カードが挿入されていない。 ・B-CAS カードが破損している。	・B-CAS カードを挿入してください。 ・B-CAS カスタマーセンターにご連絡ください。
E102	このB-CASカードは使用できません ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	・B-CAS カード以外のカードが装着されている。 ・カード IC（集積回路）部が汚れている。 ・B-CAS カードが破損している。	・B-CAS カードを挿入してください。 ・正しく装着しても改善されないときは、B-CAS カスタマーセンターにご連絡ください。
E200	放送チャンネルではないため、視聴できません。	・通信など通常の放送形態でないチャンネルを選局していない。 ・ホテルなどで特定の視聴者向けのサービスを放送しているチャンネルを選局している。	・通常の放送チャンネルを選局してください。
E201	信号レベルが低下しています。	・雨や雷、雪などの気象条件によって受信の信号レベルが低下している。	・故障ではありません。
E202	信号を受信できません。	・アンテナ線が正しく接続されていない。 ・アンテナが放送に適合していません。 ・雨や雷などの気象条件によって一時的に受信できない。 ・アンテナ線がはずれたり切れている。 ・アンテナの方向ずれや故障。 ・電波が弱くて視聴できない。	・アンテナが正しく接続されているか確認してください。 ・放送に適合したデジタル放送用アンテナであることを確認してください。 ・アンテナ線を確認してください。 ※選局したチャンネルでの放送が休止中の場合も表示することがあります。
E203	現在放送されていません。	・選局したチャンネルでの放送が休止中である。 ・放送が終了している。	・番組表などで放送時間を確認してください。 ・放送中のチャンネルを選局してください。 ※雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示することがあります。
E204	該当するチャンネルはありません。	・このチャンネルは存在しません。	・選んだチャンネルがありません。番組ガイドなどでチャンネルをお確かめください。
E209	アンテナとの接続を確認してください。	・アンテナ線がはずれたり切れている。	・アンテナ線を確認してください。
E210	この受信機ではこのチャンネルは受信できません。	・部分受信サービス「ワンセグ」を選局した。	・本機は、部分受信サービスは受信できません。
E400	データが受信できません。	・データ放送の情報が取得時にエラーが発生した。	・再度データ放送を取得してください。
E401	この受信機では、データを表示できません。	・本機でサポートしていないバージョンのBMLドキュメントを受信した。	・現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、異なるチャンネルを選局してください。
E402	データの表示に失敗しました。	・コンテンツ再生中に実行エラーが発生した。	・現在ご覧のチャンネルとは異なるチャンネルをいったん選局し、再びエラーが起こったデータ放送チャンネルを選局してみてください。

保証書とアフターサービスについて

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- ・この製品は保証書が添付されています。お買い上げの際、お買い上げの販売店からお受け取りください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- ・保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- ・本機のメモリーに保存されたデータは、保証の対象外です。

修理アフターサービス

修理を依頼されるときは、まず『困ったときには』の項を参考にして故障かどうか調べてください。

それでも具合が悪い時は **ケーズデンキサービスセンター** またはお買い上げの販売店にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

商品名：地上・BS・110度CS デジタルハイビジョン液晶テレビ

型名：DX-19E220J12、DX-22E230J12

故障の状態：できるだけ詳しく

購入年月日：

部品の交換について

修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際に交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは、保証書をご覧ください。

何らかの原因で本機に記録されたデータ等が変化・消失された場合など、いかなる場合においても記録内容の補償及びそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。予めご了承ください。

また、本機を使用できなかったことによる付随的損害について、いかなる場合においても当社は一切責任を負いかねます。予めご了承ください。

保証期間経過後の修理は

診断をして修理ができる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。

転居や贈答品などでお困りの場合は

以下の窓口にご相談ください。

お問合せ先：**ケーズデンキサービスセンター**

フリーダイヤル：**0120-820-806**

受付時間：9:00～19:00 年中無休（元日を除く）

FAX：0120-502-331 URL：<http://www.ksdenki.com>

放送などに関するアフターサービス

- ・BS デジタル、110 度 CS デジタルの放送局と受信契約や番組に関しては、ご覧になりたい放送局や衛星サービス会社のカスタマーセンター、B-CAS カードカスタマーセンターにお問い合わせください。

B-CAS カスタマーセンター

電話番号 0570-000-250

受付時間 10:00 ～ 20:00 年中無休

- ・デジタル放送全般については（社）デジタル放送推進協会（Dpa）のホームページをご覧ください。

（社）デジタル放送推進協会

<http://www.dpa.or.jp/>

- ・地上デジタルの受信相談については、総務省地デジコールセンターにお問い合わせください。

総務省地デジコールセンター

電話番号 0570-07-0101 ※IP 電話などの場合 03-4334-1111

受付時間 平日 9:00 ～ 21:00 土・日・祝日 9:00 ～ 18:00

ケースデンキ サービスセンター でお受けした個人情報は、本製品に関するアフターサービス（お問合せおよび保証期間内の修理、製品の安全点検に関するご案内）のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し修理業務等を委託する場合や正当な正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。

This television is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

商標について



HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing,LLCの商標または登録商標です。

廃棄について

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの液晶テレビを廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

DYNEX™

Distributed by Best Buy Purchasing, LLC
7601 Penn Ave. South, Richfield, MN 55423 U.S.A.
© 2010 BBY Solutions, Inc. All rights reserved.

DYNEX is a trademark of BBY Solutions, Inc. Registered in some countries. All other products and brand names are trademarks of their respective owners.

11-0292
日本語